







川崎市多摩区社会福祉協議会 第3期地域福祉潛動計画

社会福祉法人川崎市多摩区社会福祉協議会

〒214 -0014 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ケ丘2階 福祉パルたま内

地 域 課

TEL 044 (935)5500 FAX 044 (911)8119

あんしんセンター

TEL 044 (933) 2411 FAX 044 (911) 8119

事 業 課

TEL 044 (935)5916 FAX 044 (935)4375

E-mail

tamaku@csw-kawasaki.or.jp

ホームページURL

http://www.kawasaki-shakyo.jp/tama/















ご挨拶

社会福祉法人 川崎市多摩区社会福祉協議会会 田 嶋 郁 雄



この度策定した第3期地域福祉活動計画は、第1期及び第2期の地域福祉活動計画への評価や課題を踏まえた上で、平成25年度に実施しました地域住民との懇談会、アンケート調査等から把握した地域の課題、要望をまとめ、川崎市多摩区社会福祉協議会としての取り組みの方向性を整理し、活動の更なる発展・強化に向けた検討を進めました。

地域の福祉をより良いものとしていくためには、地域住民一人ひとりが自らの地域に目を向け、各々の立場からできることを考え、地域の福祉活動に参画いただき、協働して地域福祉の推進に向けた取り組みを進めていくことが重要になります。

第3期地域福祉活動計画では、第1期及び第2期の地域福祉活動計画とはその構成を大きく変え、この地域福祉活動計画を読んでくださった方々に、川崎市多摩区社会福祉協議会が進める地域福祉活動について少しでも多く知っていただける内容とすることを心掛けました。

これまで掲げた基本理念及び基本目標を引き継ぎつつ、更に発展させていくと共に、新たに第3期地域福祉活動計画から重点取組の項目を設け、特に重点的に進めていく活動として「広報啓発」、「ボランティア活動」、「福祉教育」、「移送・送迎サービス」、「会員・会費制度」の5つを挙げさせていただき、それぞれの方向性と計画期間中の進め方を明確に示させていただきました。

この第3期地域福祉活動計画は、人と人との繋がりから生まれる想いや力を実際の行動に移し、共に取り組みを進めていくことによって、初めてその価値が見出されるものと考えております。

今後とも川崎市多摩区社会福祉協議会が進める地域福祉活動へのより一層のご理解 とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この計画を策定するにあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました地域住民、関係機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

目 次

	地域	城福祉活動計画の策定にあたって ・・・・・・・・ P	1
	1	地域福祉と社会福祉協議会 ・・・・・・・・・・ P	2
	2	地域福祉活動計画とは ・・・・・・・・・・ P	6
	3	多摩区の現状とこれからの推移 ・・・・・・・・ P	7
	第2	2期計画の総括と第3期計画の策定に向けた取り組み状況 ・・ P つ	11
	1	これまでの経緯と第2期計画の総括 · · · · · · · · · P	12
	2	第3期計画の策定に向けた取り組み状況 ····· P	16
	第3	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	1	基本理念と計画期間 ・・・・・・・・・・・・・・ Pグ	20
	2	基本目標と重点取組 ・・・・・・・・・・・・・・ P 2	21
	3	各重点取組の事業詳細・・・・・・・・・・・・・・・Pグ	23
	4	各事業での具体的な取り組み ・・・・・・・・ P (34
	5	計画の進行管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4	42
IV	資料	¥ •••••• Р 2	43
	1	担当事業分野別理事(担当理事) · · · · · · · · · · · P 4	44
	2	第2期計画の評価 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	45
	3	第3期計画策定の経過 · · · · · · · · · · · · P 🧵	70
	4	川崎市多摩区社会福祉協議会組織図 ・・・・・・・・ Р 7	72
	5	川崎市多摩区社会福祉協議会会員名簿・・・・・・・・・・・・・・アプ	73
	6	地区社会福祉協議会の概要 ・・・・・・・・・・ P 7	75

地域福祉活動計画の策定にあたって

料

2

地域福祉と社会福祉協議会

(1) 地域福祉とは

「福祉」という言葉は、「【ふ】だんの【く】らしの【し】あわせ」と言 われることがあります。

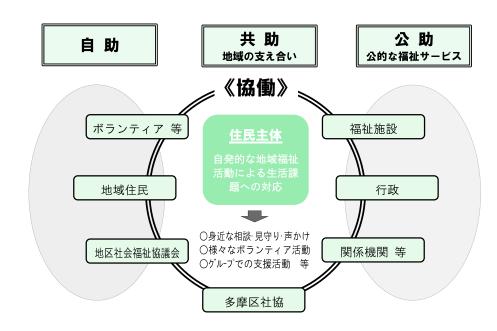
福祉を構成する「福」、「祉」、どちらの文字も「幸せ」という意味を持ってお り、2 つの文字が組み合わさることで「幸せ」「ゆたかさ」を意味する言葉とな ります。

何を幸せと感じるかは一人ひとり異なりますが、誰もが「自らの幸せ」を願 っており、そのためには他の人との関わりの中でお互いに支え合うことが必要 であり、「他の人の幸せ」を願うことも大切となります。

「地域福祉」は、住み慣れた地域社会の中で、住民一人ひとりが年齢や障害 の有無に関わらず、家族や友人と共に生きがいを持って健康で明るく幸せな生 活を送るために、地域住民が自ら地域作りに参加し、お互いが福祉の"担い手" であり、"受け手"であるという考えのもとに、主体となる地域住民・行政・社 会福祉関係者がお互いに協力し、支え合いながら、誰もが安心して暮らしてい くことのできる福祉のまちづくりをすすめていくという考え方になります。

住民を主体に、様々な地域福祉の担い手と福祉施設、行政等が協働して地域 福祉の推進に向けた取り組みを進めていくことにより、地域の中での共助の仕 組みが作られていきます。

【地域福祉の推進に向けた協働のイメージ】



※参考資料:厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」

(2) 多摩区社会福祉協議会とは

多摩区社会福祉協議会は、昭和48年6 月に任意団体として設立され、その後の多 摩区からの麻生区の分区等を経ながら少 しずつ姿を変え、平成8年に社会福祉法 人としての法人格を取得し、現在の「社会 福祉法人川崎市多摩区社会福祉協議会」 (以下、「区社協」という) として新たに 発足、今に至ります。

現在は、地域住民の一番身近なところで 活動する社会福祉法人の社会福祉協議会 (以下、「社協」という)として、町会・ 自治会、民生委員・児童委員、ボランティア 団体などの地域の様々な福祉関係団体や 個人の会員から構成される理事会:評議員 会により組織運営の方向性を決定し、事業 ごとに設置するボランティアセンター運 営委員会、福祉教育推進委員会等の専門委 員会に地域住民や関係団体に委員として 参加いただくことで、地域の声を聴き、地 域のニーズを反映させた形での事業展開 を進めています。

社会福祉協議会はどのような団体?

社会福祉協議会は、社会福祉法 という法律に「 地域福祉の推進を 図ることを目的とする団体 1と規 定され、地域社会において民間の 自主的な福祉活動の中核となり、 住民の参加する福祉活動を推進 し、保健福祉上の諸問題を地域社 会の計画的 協働的努力によって 解決しようとする公共性:公益性 の高い民間非営利団体で、住民が 安心して暮らせる福祉コミュニテ ィづくりと地域福祉の推進を使命 とする組織となります。

高齢 障害 児童 低所得などの各 課題に対して分野ごとに取り組む 団体が多くある中で、特定の福祉 問題の解決だけを目的にしていな い点、広くボランティア活動の推 進のための支援機能を果たし、ボ ランティア活動の受け入れ団体や 機関、社会的支援組織とボランテ ィア団体、民間非営利組織との仲 介・媒介機能を果たす点などが主 な特徴として挙げられます。

具体的な事業の展開にあたっては、区社協事務局内に次の体制を設け、様々 な分野の活動を実施しています。

事業を進める事務局体制

○地域課 ~ボランティアをやってみたい・福祉について知りたい~

地域の中の様々な福祉課題を地域で解決することを目指し、地域住民や福 祉団体等のご協力をいただき、ボランティア育成のための講座や福祉啓発の ためのセミナー、各種福祉情報、サービスの提供等を行っています。

○事業課(川崎市社会福祉協議会 たま訪問介護支援事業所) ~ヘルパー派遣・介護保険のサービス利用~

住み慣れた自宅での自立した生活を支えるために、ケアプラン作成や訪問 介護員(ヘルパー)の派遣を行っています。経験豊かなスタッフが介護や家 事援助等の各種サービスを提供しています。

○あんしんセンター ~高齢者や障害者の権利擁護~

高齢者や障害がある方の権利擁護にかかわる相談やご自身での福祉サービ スの利用契約や金銭の管理等に不安のある方に対して、日常的な金銭管理の 支援や福祉サービスの利用手続きの援助等の各種サービスの提供を行ってい ます。

料

IV

資

Π

策第

定 2

に期計

けた取る画の総

で組み状況で話と第3期

計

画の

 \blacksquare

第

の考

え方と方向性

その活動の主な財源は、区社協の第 1 種から第 10 種までの会員(会員の詳細は、P73·74 を参照)からの会費、区社協及び地区社協が進める地域福祉活動の趣旨に賛同いただき賛助会員に加入された方からの賛助会費、共同募金からの配分金、川崎市·川崎市社協·神奈川県社協からの補助金、助成金、委託費、指定管理費、地域の皆様からいただいた寄付金、一部事業での事業収入等が中心となっ

しかし、活動財源の54.9%を占める補助金や助成金、委託費、指定管理費は特定された事業の経費のため、その使途が定められています。

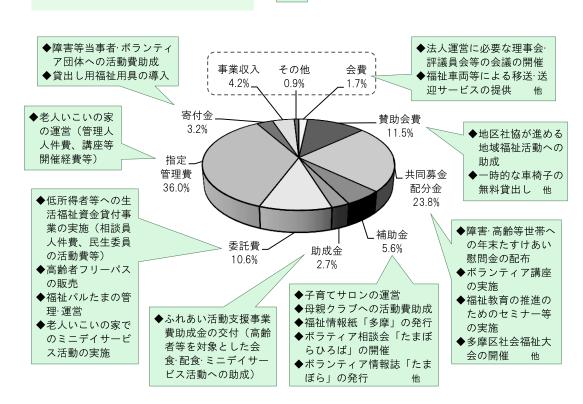
区社協の活動財源の内、区社協として実施する独自事業に活用できる財源は全体の半分以下であり、限られた財源を着実な事業展開により地域に還元していくことが重要であると言えます。

【平成24年度の活動財源とその主な活用方法】



ています。

↑ 吹き出し内は、財源ごとの主な活用方法を記載



※活動財源総額の内、53.978.290 円を事業費として活用、差額の1,677,620 円は次年度へ繰越

(3) 地区社会福祉協議会と多摩区社会福祉協議会の関係

多摩区内には、地域の町会・自治会、民生委員・児童委員、保護司等から構成され、小地域での地域福祉活動を進める任意の福祉団体(住民組織)として、登戸・ 菅・中野島・稲田・生田の5つの地区社協が活動しています。

区社協と地区社協では、団体の運営方法も活動内容も異なる組織となり、区社協が区域での活動を展開するのに対し、地区社協は小地域での活動を展開しています。

活動の対象とす 【区社協と地区社協の関係と地域福祉活動のイメージ】

【小地域】 登戸地区社協 登戸 地域 生田地区社協 【小地域】 【小地域】 生田 菅地域 菅地区社協 【区域】 地域 多摩区 【小地域】 【小地域】 中野島地区社協 中野島 稲田 地域 地域 稲田地区社協

を活かし、連携し合いながら、協働して地域福祉の推進に向けた取り組みを実施しています。(地区社協の詳細は、P75~79を参照)

区内マッフ 菅· 菅野戸呂· 菅稲田堤· 菅城下· 菅仙谷 菅北浦 菅馬場 菅地区社協 中野島·布田 普連絡所 中野島地区社協 稲田堤駅 登戸·登戸新町 京王稲田堤駅 多摩老人福祉センター ●中野島 中野島駅 登戸地区社協 **▼小田急小田原線** 宿河原·長尾·堰 多摩区総合庁舎 多摩区社会福祉協議会★ 稲田地区社協 生田出張所▼ 宿河原駅 向ヶ丘遊園駅 よみうり ● 5 ランド前駅 錦ヶ丘 長尾 生田地区社協 府中街道 東名高速道路 栗谷·三田·寺尾台·生田·西生田· ★多摩区社会福祉協議会 東生田·長沢·南生田·東三田·枡形 ▼区役所 ●老人いこいの家、老人福祉センター

5

策第

定 2

に向けた取り組み状況期計画の総括と第3期計

画の

 \blacksquare

第3

期計画の考

え方と方向性

 \mathbb{I}

資

料

料

2

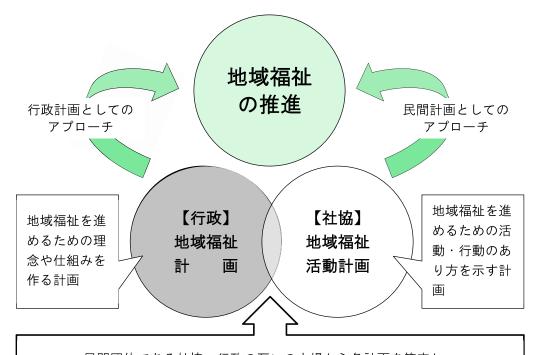
地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画は、平成 12 年 4 月に改正された社会福祉法によって社会福祉協議会が『地域福祉の推進を図ることを目的とする団体』として明確に位置付けられたことにより、社協が進める地域福祉活動を地域住民や地域の福祉関係者の参画のもとで、計画的かつ着実に実施するために 5 ヵ年ごとの活動の方向性や目標を示した計画となります。

川崎市及び多摩区が策定する行政計画(川崎市地域福祉計画·多摩区地域福祉計画)とは異なるものとなり、区社協が呼びかけて、地域福祉に関係する方々で多摩区の地域福祉を推進していくために策定する民間の活動·行動計画となります。

区社協では、平成16年度から5ヵ年ごとに計画を策定し、地域福祉の推進に向けた様々な活動に取り組んでいます。

【地域福祉活動計画と地域福祉計画の関係】



民間団体である社協、行政の互いの立場から各計画を策定し、 その活動を補強・補完し合い、地域福祉を推進していきます。

3

多摩区の現状とこれからの推移

(1) 多摩区の概況

多摩区は、昭和 47 年 4 月、川崎市が政令指定都市に移行するとともに誕生 し、昭和 57 年 7 月に区内西部地域の麻生区としての分区を経て、平成 24 年に 区政 40 周年の節目を迎えました。

その位置は川崎市の北西部にあり、北は多摩川を境に東京都狛江市、調布市、 北西には東京都稲城市が隣接し、また、南には多摩丘陵に位置する生田緑地が 広がり、現在も梨畑などの田畑が多く残る自然豊かな地域となります。

また、区内には専修大学、日本女子大学、明治大学の3つの大学のキャンパスもあり、街中に若者が多く行き交う地域でもあります。

(2) 多摩区の現状

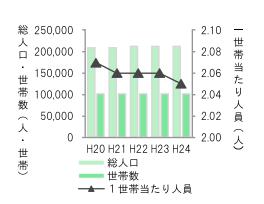
平成24年10月1日時点での川崎市の総人口は1,439,164人、その内、多摩区の総人口は213,375人(市内5番目)、世帯数は103,850人(市内4番目)となっています。

近年の推移から確認できるように、総人口に大幅な変動が生じていない中で、 世帯数が増加し、1 世帯あたりの人員が減少していることから、核家族化が進行していることが分かります。

【多摩区の総人口と世帯数】

(単位:人又は世帯)

	H20	H21	H22	H23	H24
総人口	210,541	211,604	213,894	213,490	213,375
世帯数	101,789	102,713	103,595	103,565	103,850
1世帯 当たり 人 員	2.07	2.06	2.06	2.06	2.05



多摩区内の年齢 3 区分別人口では、平成 24 年 10 月 1 日時点での 15 歳未満までの年少人口の割合が 11.9%、15~64 歳までの生産年齢人口が 71.2%、65歳以上の老年人口が 16.9%となっています。

65歳以上の割合については年々増加傾向にあり、増加に比例して要支援者・要介護者はともに増え続け、平成24年4月1日時点での要介護等認定者の状況は、要支援者が1,643人(前年比83人増)、要介護者が4,150人(前年比179人増)となり、65歳以上の約6人に1人が要支援又は要介護認定者となっている現状があります。

6

7

策第

 \blacksquare

第

期計画の考

え方と方向性

IV

資

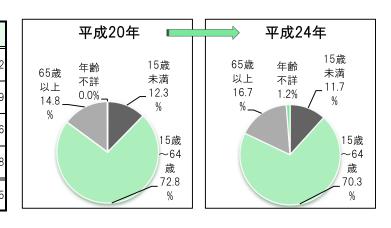
料

資

料

【年齢3区分別人口(平成20年と平成24年の比較)】

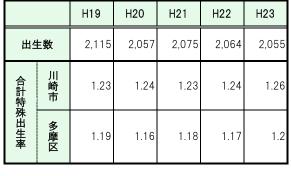
	H20	H24
15 歳 未満	25,863	24,992
15 歳~ 64 歳	153,379	150,099
65 歳 以上	31,215	35,656
年齢 不詳	84	2,628
合計	210,541	213,375

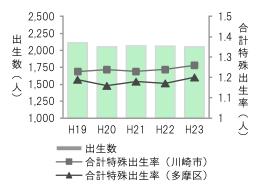


これ対し、出生数は一時的な増加も見られましたが、平成23年の時点では 2.055 人と 3 年連続で減少傾向にあり、合計特殊出生率においても平成 23 年の 全国平均が 1.39 人のところ、多摩区では 1.2 人と全国の水準を下回る位置とな っています。

【出生数と合計特殊出生率】

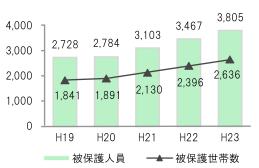






生活保護被保護人員・世帯数につい ては、平成 23 年度の被保護人員は 3,805 人(前年比 338 人增)、世帯数 は 2.636 世帯(前年比 240 世帯増)と なり、平成 19 年度と比較すると被保 護人員は約 1.39 倍(1.077 人増)、被 保護世帯数は 1.43 倍(795 世帯増) と年々増加の傾向にあります。

【生活保護被保護人員と世帯数】



障害者の状況については、平成23年度時点で身体障害者4,461人(前年比137 人增)、知的障害者 1,076 人(前年比 42 人增)、精神障害者 1,140 人(前年比 100 人増)は大きな増加は見られないものの、各障害ともに年々増加している傾向に あります。

(3) 人口動態に見る今後の推移

平成 24 年 10 月 1 日時点では 24.1%だった全国の高齢化率も、平成 25 年に は 25.1%を超え、日本の人口の 4 人に 1 人が高齢者となる超高齢社会を迎えま した。

先に記述したように、平成 24 年 10 月 1 日時点での多摩区内の高齢化率は 16.7%と全国的な水準より大きく下回るものの、川崎市による推計では、今後 の川崎市の総人口は平成 42 (2030) 年の 150.8 万人、世帯数は平成 47 (2035) 年の 77.5 万世帯をピークに減少過程に移行すると見込まれています。

年齢区分別人口では、年少人口(15歳未満)は平成27(2015)年の19.1万 人をピークに減少を始め、平成 42 (2030) 年には 16.3 万人にまで減少すると されています。

しかし、老年人口(65歳以上)は増加を続け、平成42(2030)年に33.9万 人となり、それ以降も増加していくと想定されています。

また、生産年齢人口(15~64歳)は平成37(2025)年の101.3万人をピー クに減少に転じ、少子高齢化の進行と労働力となる人口の減少から生じる経済 の悪化、社会福祉に関連する財政負担も大きくなることで、福祉を取り巻く環 境も大きく変わることが考えられます。

このような人口動態により生じる問題は、川崎市と同様に多摩区にも生じる ものであり、地域での福祉ニーズの更なる増加及び多様化は避けられず、行政 等からの制度的な福祉だけでなく、ボランティア活動を始めとする一人ひとり の福祉への理解・支援など、地域の力を活かした福祉の活動の推進がますます 求められることとなります。

【将来推計人口】

(単位:人又は世帯)

策第

 \blacksquare

第 3

期計画の考え方と方向性

 \mathbb{I}

			H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)
川	人口総数 世帯数		1,472,400	1,492,000	1,500,700	1,508,200	1,499,900	1,476,300
川崎市			702,000	727,900	748,100	765,900	775,400	775,200
		人口総数	218,200	219,600	220,900	222,100	220,400	217,900
		0-14 歳	26,100	25,800	25,400	24,200	22,400	21,700
	年	%	12.0	11.7	11.5	10.9	10.2	10.0
多摩区	年齢3区分別人口	15-64 歳	151,600	150,100	149,800	148,400	144,200	138,700
	分別人	%	69.5	68.4	67.8	66.8	65.4	63.6
		65 歳以上	40,500	43,700	45,700	49,500	53,800	57,500
		%	18.5	19.9	20.7	22.3	24.4	26.4

参考資料

- ·川崎市の統計情報 川崎市の世帯数·人口(川崎市総合企画局 各年 10 月 1 日現在)
- ・川崎市の統計情報 川崎市年齢別人口(川崎市総合企画局 各年10月1日現在)
- ・川崎市統計書 生活保護の概況(川崎市総合企画局 平成 24 年版)
- ・川崎市統計書 心身障害者の概況(川崎市総合企画局 平成24年版)
- ·川崎市介護保険執行状況(川崎市健康福祉局 平成 24 年 7 月)
- ·川崎市健康福祉年報(川崎市 障害福祉課)
- ・第3期実行計画の策定に向けた将来人口推計について(川崎市総合企画局 平成22 年4月)
- ·神奈川県衛生統計年報(神奈川県保健福祉局 平成 23 年)



第2期計画の総括と第3期計画の 策定に向けた取り組み状況

これまでの経緯と第2期計画の総括

区社協では、平成 12 年 4 月に社会福祉法が改正されたことに伴い、平成 16 年に 平成 16 年度から平成 20 年度を計画期間とする「第 1 期地域福祉活動計画」(以下、「第 1 期計画」という)を策定、その後、平成 21 年に平成 21 年度から平成 25 年度 を計画期間とする「第 2 期地域福祉活動計画」(以下、「第 2 期計画」という)を策定し、これまで地域福祉活動を推進してまいりました。

第1期計画の策定からは10年が経過し、計画策定に取り組み始めた当初と比べると社会の情勢·状況も大きく変わり、平成25年4月に施行された障害者総合支援法が一例として挙げられるように社会福祉に関係する法制度の改正、福祉サービスへの民間事業者の参入の増加など、社会福祉を取り巻く環境も様々な変化が生じてきています。

第2期計画では、第1期計画で示された3つの基本理念である、①区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興、②区民の生活をささえるネットワークの形成、③区内の福祉関係団体·施設との協働促進を引き続き基本理念として掲げ、各種事業を推進してまいりました。

第1期計画では、住民参加の地域福祉を計画的に実施していくことを目指して活動に取り組んでまいりましたが、①計画について住民の理解を得る場を計画的に設けていなかったこと、②計画策定後の事業推進の際に計画的・具体的な評価を十分にできなかったことが反省点として挙げられました。

第2期計画ではこの2つの反省点を改善するために、まず1点目については、多摩ふれあいまつりや多摩区民祭、たまたま子育てまつりなど、多くの地域住民が集まる機会、区社協が実施する各種講座等で計画の概要版リーフレットを配布することで周知を図るとともに、多摩区社会福祉大会においては映像等を活用し、計画の周知を通じての地域福祉活動の啓発、また、社協の活動意義についての理解の推進を行ってまいりました。

2点目についても、法人運営・地域福祉推進・福祉サービス利用支援・在宅福祉サービスの4つの部門から成る担当事業分野別理事会(以下、「担当理事会」という)を半期に一度開催し、各事業の進ちょく状況を定期的に確認していくとともに、単年度の事業計画及び事業報告の作成においても随時意見をいただくことで、地域の声を反映させながら計画的かつ具体的な取り組み状況の評価と課題の分析を実施しました。

また、第2期計画の最終年度には、平成21年度から平成25年度までの全ての取り組みについて再度振り返り、総合的な評価を行い、実施及び達成状況、取り組むことのできなかった課題等についての確認を行うことで、改めて今後の取り組みについての方向性の確認を行いました。

第2期計画で掲げた目標ごとの主な実施状況は次のとおりです。

目標1 区民の理解・協力を得られる組織運営の強化 つとめる

〇法人運営の強化

第 2 期計画期間中に新体系での会員制度を実施するには至りませんでしたが、「会員及び会費等検討委員会」を新たに設置し、改めて区社協の役割及び運営、会員種別、会費額、会員への加入による権利や義務についての検討に取りかかり始めました。

また、各地区社協の協力のもと、地域の福祉ニーズを把握するために「地域住民懇談会」を開催するとともに、種別会員アンケートとして区社協の第1種から10種までの会員を対象としたアンケート調査を実施し、区社協に対しての意見や思いなどについての確認を行うことにより、地域の声を反映させた上で各種事業の企画・運営に取り組みました。

賛助会員の募集に関しては、各地区社協を通して各地区での課題を共有しましたが、区社協としてその課題に対する具体的な検討、取り組みまで繋げることができませんでした。

目標2 区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興 しらせる・すすめる

〇ボランティア活動の推進

ボランティアセンター運営委員会の中で事業担当制を設け、担当の運営委員を中心とした主体的な事業の企画・運営を行いました。

各種講座受講後には、受講者が具体的な活動へと繋がるよう、関係機関・施設 と連携し、ボランティア体験の場を設けました。

しかし、ボランティア活動をしたい人からのニーズを講座の企画に反映させることができた一方で、ボランティアを受け入れる施設や団体のニーズをボランティア講座の企画・実施に反映することができませんでした。

〇福祉教育の推進

区内の教育機関等から寄せられる福祉学習の相談に対し、福祉教育推進委員会で作成した福祉教育ハンドブックを基に学習プログラムの企画支援や講師の紹介を行いました。

福祉啓発を目的に実施した福祉教育セミナーでは、地域住民の身近な福祉テーマが題材となるよう、地域の福祉施設や当事者に協力をいただきながらセミナーを実施しました。

しかし、「福祉教育」という言葉自体が社会全体に充分に浸透していない現状があり、今後も継続した広報活動、啓発活動などが必要となります。

〇広報啓発の推進

町会・自治会の協力を最大限に活かしながら福祉情報紙「多摩」の全戸配布や 回覧などを行い、広報活動を積極的に進めました。

しかし、福祉情報紙「多摩」の発行に関する問合せ等は少なく、どの程度の周知効果があるのか不明な現状です。

多摩ふれあいまつり及びたまたま子育てまつりでの実行委員会事務局、多摩区 民祭の実行委員を担い、各団体・個人とのネットワークを活かしながら福祉活動 への理解と参加を呼びかけ、区内団体との連携・交流を図るとともに、参加団体 としても各まつりへ参加して区社協の広報活動を行いました。

〇子育て支援の推進

子育てサロン「いちにのさん」では、稲田小学校内でのサロン活動についての 周知を行い、授業の一環としてサロン見学が実施されることで小学生との積極的 な交流を行いました。

また、以前サロンに参加していた参加者の中からボランティアとしてサロンの 運営に携わる方が生まれ、サロン内でのボランティア育成へと繋がりました。し かし、学校外での広報活動が不足しており、地域でのサロンの認知度があまり高 くない現状があります。

区内の子育て関係団体同士の交流については、講座・研修会等を通じて図りま した。

目標3 区民の生活をささえるネットワークの形成 つなげる・つながる

〇住民参加による福祉活動の推進

ボランティアセンターや福祉教育推進委員会などが実施する事業への参加者に、ボランティア情報誌「たまぼら」の新規送付確認を行い、ボランティア活動へと繋げられるように努めました。

また、講座やセミナーを実施する際には、適宜、参加者へのアンケート調査を 行い、地域からのニーズがあるテーマや身近なテーマを確認しながら講座などを 企画・実施しました。

しかし、ボランティア活動を希望する方が継続的に活動していける環境作り及び支援体制が整っておらず、効果的な人材育成を行うことができたかが不明な状況となっています。

〇総合相談支援機能の強化

各種事業ごとに相談件数の集計を行い、相談の傾向・内容などを把握し、各種 事業を計画する際の参考として活用しました。

あんしんセンター事業においては、利用者数が常時 90 名前後、新規の相談件数についても増加が見られる中で、円滑かつ継続可能な運営確保のためにリスク管理や職員の適正な業務量等について、契約能力判定審査会・ケース検討会議・あんしんセンター連絡会議などの場を通じて事業委託元である川崎市社協運営課へ現状を報告し、区社協としての改善に向けた意見を伝えました。

〇在宅福祉サービスの推進

年末たすけあい運動配分事業では、慰問金と共に民生委員の活動紹介チラシを配布することで、地域での関係作りや民生委員・児童委員の活動への理解を深める機会となりました。

移送・送迎サービス事業に関しては、運営委員会において移送サービスでの付添者の同乗要件の追加や事務所の体制に合わせたサービス提供時間の変更などの実施要綱及び細則の見直しを行い、安全性を重視した事業運営を行いました。 多摩区内での移動サービス事業の参入者も増えてきている現状から、今後は、人材の育成や活動の支援を視野に入れた事業内容の見直し・検討を進めていく必要があります。

目標4 区内の福祉関係団体・施設との協働促進 かかわる・ささえる

○地域の団体・施設との協働

関係機関が実施する各種会議に職員が出席することにより、地域の福祉ニーズを的確に捉えられるよう努めました。また、各種機関・団体にボランティア体験の受入れや講座の講師を依頼するなど、連携を取りながら各種事業に取り組みました。

しかし、会議の中で課題や情報を共有した後に、全ての内容に対しての具体的な解決策の検討などを行うことができませんでした。関係施設や団体相互間の関係作りは、今後も更に深められる余地があるものと考えられます。

第3期計画の策定に向けた取り組み状況

平成26年度から平成30年度までの5か年を計画期間とする第3期地域福祉活動計画(以下、「第3期計画」という)では、第1期計画(平成16年度~平成20年度)及び第2期計画(平成21~25年度)での課題と成果を踏まえた上で、その基本的な方向性を社協の取り組みの更なる発展を目指した「発展計画」と位置付け、「周知と発展整理」をテーマに策定を進めました。

第3期計画の策定にあたっては、担当 理事会を中心に計画の策定方針や策定 のための取り組みについて検討し、その 内容について協議を進めながら、理事会、 評議員会に諮って進めていくべき方向 性を決定しました。

策定に向けた具体的な取り組みとしては、①地域住民からの意見を聞く場としての「地域住民懇談会」の開催、②区社協の各種別会員を対象とした「種別会員アンケート」による意見収集を実施し、今地域の中で生じている福祉ニーズの把握と区社協が現在実施している取り組みについての考えや要望等の意見を求めました。

策定テーマ「周知と発展整理」

周知 〜知ってもらおう社会福祉協議会〜

○社会福祉協議会を知ってもらう機会を増や します!!

地区社会福祉協議会と連携した広報を行い、知ってもらう機会を増やします。

○社会福祉協議会を応援してくれる『担い手』 を増やします!!

福祉教育の推進やボランティアセンター の運営などを通じて関わった人に継続的に 地域福祉活動に関わってもらえる仕組みを 作り、地域福祉活動の担い手を増やします。

発展整理 ~時代にあった事業に再構築~

○区社会福祉協議会事業の徹底した整理

第3期活動計画初年度で継続して5年以上(第2期計画期間)実施している事業については、発展、再編、見直し、廃止も含めて一から事業の整理を行います。

○5地区社会福祉協議会と区社会福祉協議会 の共通課題の整理

区・地区社会福祉協議会は、様々な事業を 連携し実施していますが、賛助会員増強運動 や事業運営においての共通課題を整理し、解 決方法を検討します。

各取り組みの実施概要については、次のとおりとなります。

●地域住民懇談会の実施概要

*実施期間

平成 25 年 7 月から 8 月まで

*開催回数

5回(稲田・生田・中野島・菅・登戸地区で各1回)

*参加者数

82 名(地区社協、民生委員・児童委員、町会・自治会、老人クラブ、個人 他)

*タイトル

いま地域で必要な支え合い、一緒に考えませんか?

*実施方法

フリートーク形式での意見交換を中心に実施

●種別会員アンケートの実施概要

*実施期間

平成 25 年 6 月から 7 月まで

*対象者

区社協第1種から第10種までの各種別会員及びその構成員

*実施方法

区社協各種別会員へアンケート及び事業概要シートを配布(送付)し、返信用封 筒での返送又は直接持参により回収

*設問項目

設問 1-1 社会福祉協議会が実施する地域福祉活動をより広く地域住民に知っていただくためにはどのような方法がありますか

設問 1-2 ボランティア講座や福祉教育セミナー等の参加者を増やすためには どのような方法がありますか

設問 1-3 賛助会員等の社会福祉協議会を支援いただく方を増やすためにはどのような方法がありますか

設問 2-1 現在、本協議会が実施する事業の中で、今後の更なる発展が見込まれる事業、廃止を含めて縮小することが望ましい事業などがございましたら、理由と併せてご記入ください

設問 2-2 今後、本協議会での実施を希望する事業などがございましたら、理由と併せてご記入ください

*回答状況

依頼件数:232件 / 回答件数:87件(回収率:37.5%)

16

第

I 地域福祉活動計画の策定にあたって

18

◇地域住民懇談会及び種別会員アンケートを通じて区社協に求められたこと(一例)

- *社協の活動を周知するための広報手段と機会の検討、活動内容の分かり やすく正しい説明
- *広報紙やイベント等の従来通りの情報提供と合わせたインターネット等の新たなツールを活用した多様な方法での情報発信
- *地域住民からのニーズに合わせた的確な情報の提供
- *様々な世代の住民が集まり、交流できるコミュニティ作りとその支援
- *子育で世代への支援と子どもが安心して遊べる場所作り
- *ボランティア活動の更なる普及と参加・活動しやすい環境作り
- *福祉活動の担い手の発掘と支援していくための体制整備
- *若い世代を対象とした取り組みと働き掛けの実施
- *住民が地域と繋がる・地域について知るためのきっかけ作り
- *在宅高齢者を対象とした移動支援やお話し相手などの取り組みの充実
- *地域の活動拠点の確保と有効的な運営
- *自治体や福祉関係機関、地域との連携による取り組みの実施
- *他機関と重複した事業の整理を行った上での社協独自の事業の実施



基本理念と計画期間

地域と協働に進める 福祉充実への着実な一歩

第3期計画が目指すものは、「多摩区の地域住民の皆様の参画により、地域の中でお互いに協力し、支え合いながら、誰もが安心して暮らしていかれる地域社会をつくること」にあります。

そのような福祉のまちづくりを目指し、区社協が地域住民に一番身近な法人社協 としての責任を持ち、地域の皆様や関係団体との協働により計画的かつ継続的に地 域福祉活動を進めていくために、この基本理念を定めました。

第3期計画は、平成26年4月から平成31年3月までの5か年を計画期間とし、法・制度関係の改正や社会情勢の変化、人口の推移、新たな地域ニーズの発生等の状況に合わせて、随時必要に応じた見直しを実施するとともに、計画の中間年度にあたる平成28年度には全ての取り組みの一斉見直しを行うことで、地域の実状に即した活動を進めてまいります。

第1期	第2期	第3期							
		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度			
平成 16 年度 ~20 年度	平成 21 年度 ~25 年度			中間見直し					

基本目標と重点取組

(1) 基本目標

第3期計画では、第1期及び第2期計画で掲げた3つの基本理念をもとに取り組んできた活動を更に充実させるために、その内容を継承した3つの基本目標を掲げ、地域福祉の推進に向けた活動に取り組んでまいります。

基本目標

「知ること」から「行動」へ

誰もが安心して暮らしていかれる地域社会を作るには、地域住民一人ひとりの福祉理解と福祉活動への参画が必要となります。

地域住民の方々が福祉にふれる機会を増やし、地域福祉活動への積極的な参画を促進していきます。

基本目標

2

「情報」と「地域的支援」を届ける

複雑化する福祉ニーズへの対応には、公の福祉支援だけでなく、地域の 支え合いの中から生まれる福祉支援が必要となります。

区内の福祉情報を集約し、必要な支援を有効的に届けられる体制の整備 を進めていきます。

基本目標



地域的支援を進める「輪」の強化

地域の福祉課題の中には1人や1つの団体だけでは解決することが困 難な問題もあり、地域全体での取り組みが必要となります。

区内の福祉関係者·団体、行政との協働による地域的支援を進めるため、 区社協の会員·会費制度を中心に地域福祉を推進する団体同士の連携を深めていきます。

20

IV

資

策 第

第3期計画の策定テーマである「周知と発展整理」から実施した各種調査等により把握した地域課題を踏まえた上で、本計画期間中、特に重点的に進めていく事業を【重点取組】として5つ掲げ、活動を進めてまいります。

重点取組

1

福祉情報紙とホームページの内容の充実による情報の的確な発信と広報活動の質の向上

重点取組

2

ボランティアに関する相談の受付体制と活動に 繋げていくための相談支援の更なる強化

重点取組

学校と地域との連携による子どもから大人まで を対象とした福祉の学びの機会作り

重点取組

移送·送迎サービス事業の新たな展開と地域での ネットワークの構築

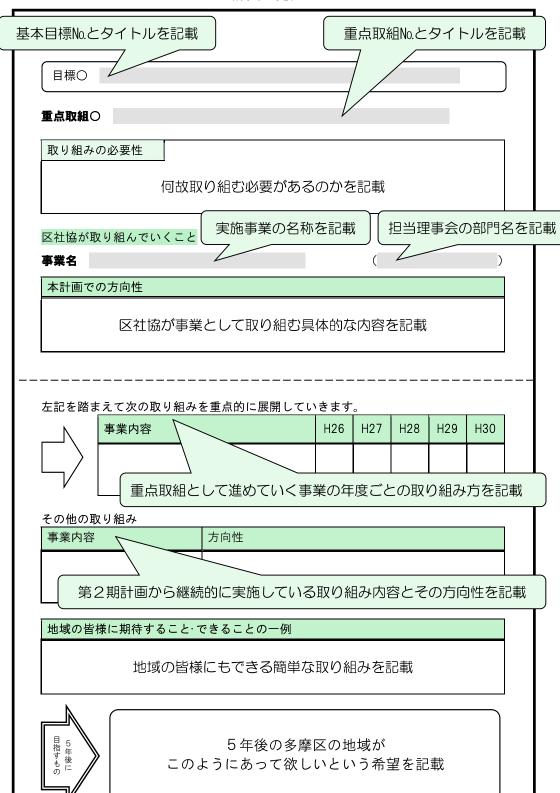
重点取組

区内の福祉関係団体の社協活動への参画を目指した新たな会員・会費制度の実施

各重点取組の事業詳細

第3期計画の基本理念及び基本目標に基づいて進める5つの重点取組の各詳細は、次のとおりとなります。

~~~ 計画の見方 ~~~



22

IV

地域福祉活動計画の策定にあたっ

### 基本目標1 「知ること」から「行動」へ

### 重点 福祉情報紙とホームページの内容の充実による 取組 情報の的確な発信と広報活動の質の向上

### 取り組みの必要性

平成 25 年度に実施した地域住民懇談会や種別会員アンケートの中では、社協の認知度が非常に低く、活動内容が地域住民に十分に知られていない等の意見が多く出されています。

また、生活上の困り事や福祉課題を抱える方が多くいる中、適切な相談窓口や関係機関についての情報も得にくい等の声も多く挙げられました。

現在、各家庭でのインターネット環境の普及により情報発信·収集のための手段も、 広報紙や新聞のような従来からの手段だけでなく、ホームページ、インターネット上 でのコミュニケーションツール等の多様な情報ツールが生まれたことで、多くの情報 が様々な形で世の中に出回っています。

そのような社会状況の中、個人ごとに異なる情報ツールが活用され、多くの情報から必要な情報を選択して得ることができるようになりました。

区社協においても現在の社会状況を踏まえた上で、多様な情報ツールを活用しながら様々な世代·性別·立場の方に向けて、社協の活動についての正しい情報を正確に地域住民に伝えていくとともに、分かりやすい福祉情報の発信を進めていくことが必要となります。

### 区社協が取り組んでいくこと

### 事業名 / 広報啓発事業

(担当:地域福祉活動推進部門)

### 本計画での方向性

福祉情報紙「多摩」やホームページを中心とした情報発信を進めるとともに、大規模な広報啓発事業としての多摩区社会福祉大会の実施、区内各種イベントへの参加を通じての福祉情報の発信及び社協活動の PR を進めていきます。

また、福祉情報の発信にあたっては、各情報ツールを活用される対象者をイメージ した上での周知方法の検討を行うとともに、地域住民の福祉への関心・理解が深まる ような内容の工夫、見直しを進めていきます。

①福祉情報紙「多摩」の構成内容の見直し

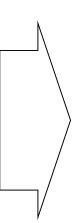
従来の紙面構成にとらわれず、手に取りやすく、見やすい紙面構成を進めます。

②ホームページの構成内容の見直し

ホームページ担当職員によるタイムリーな情報更新を進めるとともに、現在のホームページの内容の整理及び更新を図ります。また、画像や映像を多く取り入れることで、視覚的なイメージが沸くようなホームページ作りを進めていきます。

- ③インターネット上でのコミュニケーションツールの活用の検討
  Twitter や Facebook 等のコミュニケーションツールを活用した情報発信についての
- 検討を進めます。 ④多摩区社会福祉大会の更なる充実 幅広い世代、立場の方が参加できるよう、開催時間·内容·実施方法の見直しを図り、
- 多摩区らしい魅力的な企画作りを進めます。 ⑤マスコットキャラクターやシンボルマーク等の作成 区社協の活動に親しみをもち、一目で区社協を連想していただけるよう、マスコットキャラクター等の導入を検討します。

左記を踏まえて次の取り組みを重点的に展開していきます。



| 事業内容                   | H26  | H27 | H28  | H29 | H30      |
|------------------------|------|-----|------|-----|----------|
| 広報紙「多摩」の構成内容の見直し       | 実施 - |     |      |     | <b>-</b> |
| ホームページの構成内容の見直し        | 実施 - |     |      |     | <b></b>  |
| コミュニケーションツールの活用の<br>検討 | 検討   | 実施一 | 中間見止 |     | <b>-</b> |
| 多摩区社会福祉大会の更なる充実        | 実施 - |     |      |     | <b>-</b> |
| マスコットキャラクター等の検討        | 検討   | 実施— |      |     | <b></b>  |

策 第

資

### その他の取り組み

| 事業内容                   | 方向性                                                                                                      |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福祉情報紙「多摩」音<br>声版の作成    | 朗読ボランティアグループの協力を得て福祉情報紙「多摩」<br>の音声版を作成し、配布又は貸出しにより様々な立場の方へ<br>の情報発信が行える仕組み作りを検討していきます。                   |
| 区内イベントでの活動 PR の実施      | 区内の福祉団体の連携と交流に向けた支援として、多摩ふれあいまつり及びたまたま子育てまつりの事務局、多摩区民祭の実行委員を担うとともに、イベントへの参加を通じて、<br>社協活動の正しい情報を発信していきます。 |
| パンフレットによる<br>区社協の活動 PR | 区社協がどのような団体か、どのような活動を行っている<br>か等を記載したパンフレットを用いて、社協活動の正しい情<br>報を伝えていきます。                                  |
| 福祉関係資料の整備<br>及び閲覧提供    | 区内の福祉関係団体が発行した資料や定期刊行の福祉情報<br>紙等を中心に、閲覧できる環境を整えます。                                                       |

### 地域の皆様に期待すること: できることの一例

福祉情報誌「多摩」やホームページを閲覧するとともに、知人に情報を紹介します。 福祉活動の情報を区社協へ提供します。

福祉情報紙「多摩」を店舗や事務所、受付窓口に設置します。

| 多摩区社会福祉大会に参加して、福祉についてふれてみます。



福祉情報にふれる機会が増えることで、福祉にあまり関わりのなかった方についても福祉がより身近なものとなり、社協活動を理解・支援してくださる人が増えます。そして、広報内容・方法等についての意見や希望が増えれば、更に充実した情報発信を進めていく事ができます。

また、必要な福祉情報を必要な時に入手し、活用できるようになります。

### 基本目標1 「知ること」から「行動」へ

### 重点 2 ボランティアに関する相談の受付体制と活動に 取組 2 繋げていくための相談支援への更なる強化

### 取り組みの必要性

現在、多摩区ボランティアセンターでは、区内の地区社協、民生委員・児童委員、ボランティア、そして多摩区ボランティアセンターの特色である一般公募による地域住民等から構成されるボランティアセンター運営委員会を中心に、区社協のボランティア担当職員が他の事業を兼任しながら、ボランティア相談の対応や各種ボランティア講座の開催等の関係事業を実施しています。

そのため、担当職員だけでは多くの地域住民から寄せられてくるボランティア相談への対応時間が限られてしまっている現状があり、ボランティアセンター運営委員が中心となって実施する「ボランティア相談会~たまぼらひろば~」を定期的に開催することでボランティア相談への対応も行っていますが、相談受付後のフォローまで行える体制が整っていない状況にあります。

また、従来の活動や考え方にとらわれることなく、自分の意志で、自由な発想やアイデアで創ることができるボランティア活動の重要性がますます高まっております。このような状況の中、「たのしもう♪ まい ほらんていあ らいふ!」をテーマに、より多くの方にボランティア活動の大切さを知っていただき、実際の活動へと繋げていくためにも、ボランティアセンターの相談支援機能の充実が重要であると考えます。

### 区社協が取り組んでいくこと

### 事業名 / ボランティア活動振興事業

(担当:地域福祉活動推進部門)

### 本計画での方向性

多摩区のボランティア活動の振興を目的に、多摩区ボランティアセンター運営委員会の運営委員の参画のもとで、ボランティアの受入れ及び活動等の相談支援、ボランティア情報の発信のための情報誌の発行、ボランティア活動の啓発・人材の育成・組織化及び活動支援のための講座の開催を進めていきます。

特にボランティア相談支援においては、次の活動を重点的に取り組んでいきます。

- ①ボランティアセンターの相談支援体制を見直し、ボランティア相談員の配置を検討し、ボランティア相談に対応していきます。
- ②ボランティア相談会〜たまぼらひろば〜を継続的に開催していくと共に、区内のイベント、大学キャンパス等での出張型での開催を進め、効果的な相談受付を実施します。
- ③ボランティアセンターのホームページでのタイムリーな情報発信を行うとともに、 ボランティア活動やボランティア講座等の様子が分かるような画像·映像等を掲載 していきます。
- ④ボランティア情報誌「たまぼら」の紙面構成を整理し、見やすい·分かりやすい·親 しみやすいボランティア情報の発信を進めていきます。

左記を踏まえて次の取り組みを重点的に展開していきます。



| 事業内容                            | H26  | H27 | H28   | H29 | H30     |
|---------------------------------|------|-----|-------|-----|---------|
| ボランティア相談員による相談対応の<br>実施         | 実施 - |     |       |     | -       |
| ボランティア相談会~たまぼらひろば<br>~の効果的な出張開催 | 実施 - |     | 中間見直し |     | <b></b> |
| ボランティアセンターのホームページ<br>の充実        | 実施 - |     | 見直し   |     |         |
| ボランティア情報誌「たまぼら」のリ<br>ニューアル      | 実施 - |     |       |     | <b></b> |

### その他の取り組み

| 事業内容             | 方向性                                                                |
|------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 多摩区ボランティア        | 多摩区ボランティアセンター運営委員会を定期的に開催                                          |
| センターの運営          | し、運営委員による主体的な事業の企画及び運営を行います。                                       |
| 災害ボランティアセ        | 多摩区民へ災害ボランティアセンターの役割や活動につい                                         |
| ンターの周知           | て周知します。                                                            |
| 各種ボランティア講        | ボランティア入門講座やお話し相手(傾聴)ボランティア                                         |
| 座の開催             | 講座等、地域や社会のニーズに沿ったボランティア講座を開催します。                                   |
| ボランティア交流会<br>の実施 | 多摩区内で活動しているボランティア(個人·団体)や受入<br>れ施設が交流できる場を設け、活動しやすい環境づくりを進<br>めます。 |

### 地域の皆様に期待すること・できることの一例

地域の身近なボランティア活動から参加してみます。

ボランティア情報誌「たまぼら」を読んでみます。

ボランティア入門講座やボランティア相談会に参加して、ボランティア活動にふれてみます。

│自身の身近なボランティア活動者から話を聞いてみます。



ボランティアセンターの相談機能を強化することによって、ボランティア活動の第一歩を踏み出そうとしている方から既に活動している方まで、ボランティア活動に関わる全ての人が安心して相談できる体制を作り、区内で活動するボランティアが増えていきます。

### 基本目標1 「知ること」から「行動」へ

### 重点 **3** 学校と地域との連携による子どもから大人までを 取組 **3** 対象とした福祉の学びの機会作り

### 取り組みの必要性

福祉教育は、学校等で子どもたちに行われる教育だけでなく、地域住民が地域での福祉活動を通じ、一人ひとりが地域の福祉問題に気付き、共有し、その解決に向けて協働していく、気づきと学びのプロセスとなります。

この福祉教育のプロセスは、地域福祉を推進していくために重要なものであり、「子どもの豊かな成長」と「地域福祉の推進」という2つの側面があります。

「子どもの豊かな成長」に関しては、学校での「総合的な学習の時間」や児童·生徒のボランティア活動を通じて徐々に福祉教育が定着してきていますが、「地域福祉の推進」については、地域を基盤とした福祉教育の認識が浸透していないため、未だ十分な広がりをみせていない現状があります。

現在、地域で活躍されている多くの福祉団体は活動の担い手不足を問題としています。このような状況からも、福祉は「 高齢者・障害者のためのもの 」といった特別なものではなく、「 様々な人が幸せになるためのもの 」という、誰もの身近なものであるという認識を広めていくことが必要になります。

現在の地域福祉を担う人材への啓発、また、次世代の地域福祉を担う人材の育成の2つの視点からの福祉教育を進め、他者への思いやりの心を育てていくとともに、地域の福祉の推進のための理解者·支援者を拡充していく必要があります。

### 区社協が取り組んでいくこと

### 事業名 / 福祉教育推進事業

(担当:地域福祉活動推進部門)

### 本計画での方向性

地区社協、民生委員·児童委員、ボランティア·障害当事者団体、学校等から構成される福祉教育推進委員会を中心に、区社協として進めていく「福祉教育」のあり方についての整理を進めながら、次の3つの活動を中心に他者への思いやりの心を育むための取り組みを実施していきます。

### ①学校教育の推進

教職員からの福祉学習プログラム作成等の相談を通じて、子どもたちが身近な福祉について学び、生活の中で「気づき・考え・行動」するきっかけ作りを支援していきます。また、教職員との連携の強化及び学習プログラムの充実を図るため、教職員との情報交換会や福祉用具の体験会等の企画、福祉教育ハンドブックの改訂についての検討を進めていきます。

### ②地域教育の推進

地域の様々な人·機関との出会いにより、人生観や価値観の変化の機会、自らの地域に関心を持つきっかけを作りことを目的に、区内の福祉施設や福祉関係団体を中心に協力を得ながら、身近な福祉テーマを題材とした福祉啓発のためのセミナーを実施していきます。

### | ③家庭教育の推進

子どもが経験した福祉学習の学びを保護者が日常生活の中で受け止め、家庭の中での学びの重ね合わせ(振り返り)が行われるよう、親子参加型での福祉講座の実施を通じて、子どもと保護者への福祉学習の機会作りを進めていきます。

左記を踏まえて次の取り組みを重点的に展開していきます。



| 事業内容                      | H26  | H27 | H28   | H29 | H30      |
|---------------------------|------|-----|-------|-----|----------|
| 教職員との情報交換会等の実施            | 検討   | 実施一 |       |     | <b></b>  |
| 福祉学習の参考資料となる福祉教育ハンドブックの改訂 | 検討   | 実施一 | 中間    |     | <b>-</b> |
| 福祉啓発のための福祉教育セミナーの<br>実施   | 実施 - |     | 中間見直し |     | <b>-</b> |
| 親子参加型での福祉講座の実施            | 実施 - |     |       |     | <b>-</b> |

### その他の取り組み

| 事業内容             | 方向性                                                                                                 |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福祉教育推進委員会<br>の開催 | 地区社協、民生委員·児童委員、ボランティア·障害当事者団体、学校等から構成される福祉教育推進委員会を中心に事業の方向性を検討し、担当委員の力を活かした事業の企画·運営·<br>実施を進めていきます。 |
| 福祉教育に関する相<br>談支援 | 教育機関等で実施する福祉学習プログラムの作成への相<br>談、講師や社会資源等の紹介、関連情報の提供を行うことで、<br>区内の福祉学習の充実化を図ります。                      |

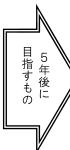
### 地域の皆様に期待すること: できることの一例

福祉教育のセミナー等へ参加します。

学校、町会·自治会、団体、企業等で福祉学習の機会を作ります。

福祉学習を通じて得た情報を周りの方に伝えていきます。

個人·団体の持つ経験値やスキルを活かして、区内の福祉学習の実施に協力していきます。



区内各学校の「総合的な学習の時間」で、他者への思いやりの心を育てていくための効果的な福祉学習プログラムが取り入れられるようになります。

また、区内の町会・自治会、団体、企業等において福祉学習の機会が取り入れられるとともに、福祉にふれる機会・考える機会が増えることで、福祉についての理解者・支援者を増え、「知る」から「行動する」に移り変わっていきます。

### 基本目標2 「情報」と「地域的支援」を届ける

### 重点 4 移送・送迎サービス事業の新たな展開と地域での ネットワークの構築

### 取り組みの必要性

区社協において、高齢や障害により公共交通機関の利用が困難な方を対象に、福祉 車両を使用したボランティアの運転による移送サービス、ボランティアの自家用車を 使用した送迎サービスを中心とした移送・送迎サービス事業を実施してから、今年で 10年目を迎えました。

現在では、サービス開始当初と比べると多摩区内を含めた川崎市全域で移動サービス(福祉有償運送輸送事業)を行う団体が多数設立されており、福祉タクシーについても個人を含み、企業、NPO 法人等の様々な団体で実施されています。

そのような中で、多摩区内での先駆けとして実施してきた移送·送迎サービスについては、区内の移動困難者の支援というサービス実施当初の目的を一定の割合で果していると考えます。

上記からも今後、従来から実施しているサービス内容の見直しを行い、区内の移動サービス実施団体の育成や支援といった地域の福祉資源の充実に重点を置いた取り組みの展開へと事業の方向性を変更し、他の移動サービス実施団体との共存による区域全体での包括的な移動サービスの実施が必要と考えます。

### 区社協が取り組んでいくこと

### 事業名 / 移送・送迎サービス事業

(担当:在宅福祉サービス部門)

### 本計画での方向性

移送·送迎サービス事業で提供できるサービスの量には限りがあるため、真にサービスを必要としている方に提供できるよう、移送·送迎サービス事業運営委員会を中心に、事業の運営体制及びサービス提供内容についての見直しを行うとともに、安全管理に重点を置いたサービスの実施を進めていきます。

区内の他の移動サービス実施団体が増えている現状から、他団体との連携及び支援を目指したネットワーク会議を構築し、区域全体での移動サービスの提供を進めていきます。

①移送・送迎サービス事業の運営内容の見直し

他団体が提供するサービスの料金体系を踏まえた上で事業の料金体系の見直しを 行い、他団体との料金格差を減らすとともに移送·送迎サービス事業全体での収支 バランスの調整を行います。また、サービス提供の対象の範囲についての見直しを 行い、必要な人へ必要なサービスを提供できるようにします。

- ②安全管理を踏まえた上での送迎サービスの実施方法の見直し 移動サービス実施事業者として継続した事業運営を行うことを念頭に置き、安全で 安心したサービスが提供できるよう、現在の送迎サービスの仕組みを見直し、サー ビスの縮小も含めて、実施方法についての見直しを行います。
- ③区内の他の移動サービス実施団体とのネットワーク会議の構築·連携 各団体でのサービス内容を共有し、互いに連携し合うことで、区域で移動困難者を 支えることのできる体制づくりを進めていきます。

左記を踏まえて次の取り組みを重点的に展開していきます。



| 事業内容                     | H26  | H27 | H28  | H29 | H30      |
|--------------------------|------|-----|------|-----|----------|
| 移送·送迎サービス事業の運営内容の<br>見直し | 実施 - |     | 中間見直 |     | <b></b>  |
| 区内移動サービス実施団体との連携         | 検討   | 実施一 | 直し   |     | <b>—</b> |

### その他の取り組み

| 事業内容         | 方向性                            |
|--------------|--------------------------------|
| 移送・送迎サービス事   | 運転ボランティア、民生委員·児童委員、サービス利用者·    |
| 業運営委員会の開催    | 団体等から構成される移送・送迎サービス事業運営委員会によ   |
|              | り、事業の方向性を検討していきます。             |
| 移送サービスの実施    | 身体上の理由により福祉車両の利用が必要とされる方を対     |
|              | 象に、区社協所有の福祉車両を使用したボランティアの運転    |
|              | による移動サービスを実施します。               |
|              | なお、サービスの提供内容については、移送·送迎サービス    |
|              | 事業運営委員会を中心に検討を行い、その内容についての見    |
|              | 直しを進めていきます。                    |
| 送迎サービスの実施    | 身体上の理由により移動の制約のある方を対象に、区社協     |
|              | に登録したボランティアの自家用車(セダン型)による移動    |
|              | サービスを実施します。                    |
|              | ※移送サービスと同様に見直しを実施              |
| 福祉車両の貸出し     | 身体上の理由により福祉車両の利用が必要で介助者 付添者    |
|              | による車両の運転が可能な方、また、地域でミニデイサービ    |
|              | ス等の実施を通じて地域福祉の推進に取り組む団体へ区社協    |
|              | 所有の福祉車両の貸出しを実施します。             |
|              | ※移送サービスと同様に見直しを実施              |
| 運転ボランティアグ    | 移送: 送迎サービス事業で活動するボランティアのグループ   |
| ループ多摩 21 の支援 | である運転ボランティアグループ多摩 21 の支援を行い、安全 |
|              | で安定したサービスの運営体制を整えます。           |

### 地域の皆様に期待すること・できることの一例

区内のサービス実施団体間で移動サービスについての情報交換を行います。

運転の免許を活かして、運転ボランティアとして活動します。

福祉車両の特性や乗車されている方の状況を理解した上で、サービス活動中はあたたかな目で見守ります。



多摩区内で活動する移動サービス実施団体が相互に情報交換し、 連携し合い、自らに無い部分を他が補完した形でのサービス提供を 行うことで、様々な事情から移動が困難となっている方へのサービ ス提供ができる仕組み作りを目指します。

30

IV

料

基本目標3 地域的支援を進める「輪」の強化

### 重点 **5** 区内の福祉関係団体の社協活動への参画を目指した 取組 **5** 新たな会員・会費制度の実施

### 取り組みの必要性

社協は地域福祉の推進を図ることを目的とする団体とされており、区社協では多摩 区内の各種福祉関係団体に会員として加入いただき、地域住民の参画のもとで事業運 営等を行っています。

区社協の会員·会費制度も社会情勢や法制度の変化等に伴い、時代に沿った形に変化していく必要性があります。

例えば、社会福祉事業に NPO 法人や株式会社が多く参入するようになっている現在の状況に対し、区社協の会員規程の中では入会の可否等について整理ができていないままとなっています。

区社協が今後、地域福祉の推進を目指した活動に取り組むにあたり、どのような役割を果たし、その役割を果たすためにはどのような会員を必要とするのか、会費はどのくらいが適当なのか、そして会員の権利や義務をどう位置づけ、社協活動の発展に生かしていくか等をまとめ、区社協の根幹を成す会員・会費制度を見直し、新たな会員・会費制度を実施します。

### 区社協が取り組んでいくこと

### 事業名 / 会員·会費制度

### **石 / 云貝・云貝削及** (担当:法人運営部門)

### 本計画での方向性

区社協の種別会員の代表から構成している会員及び会費等検討委員会において、区 社協が果たすべき役割を明確にし、これに沿う形で会員種別や会費額のあるべき姿に ついて整理します。

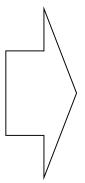
具体的には次のテーマについての検討を行い、その結果を報告書にまとめます。

- ①会員の対象範囲について
- ②会員の種別について
- ③会員の権利と義務について
- ④会費額について
- ⑤組織運営について

その後、報告書を基に理事会·評議員会での審議·承認を経て、平成 28 年度の定期 改選時までの完了を目途に会員規程等の改正を行い、新たな会員·会費制度に基づい た区社協の運営を行います。

検討の結果、会員の対象が拡大した場合には、会員数を増やし、これにより会費収入も増え、区社協の発展、ひいては多摩区の地域福祉の推進につながります。

左記を踏まえて次の取り組みを重点的に展開していきます。



| 事業内容                                | H26  | H27     | H28    | H29 | H30 |
|-------------------------------------|------|---------|--------|-----|-----|
| 会員及び会費等検討委員会の開催と<br>その結果をまとめた報告書の作成 | 実施 - | <b></b> |        |     |     |
| 会員規程をはじめとした関係規程改正                   | 検討   | 実施      | 完<br>了 |     |     |
| 新選任規程に基づく理事· 評議員の選<br>任             | 検討   | 実施      |        |     |     |
| 新会員規程による会員募集                        |      | 実施一     |        |     | -   |

### その他の取り組み

| C 02 10 02 4X 2 100 |                                         |
|---------------------|-----------------------------------------|
| 事業内容                | 方向性                                     |
| 新規会員の募集             | 現会員規程に基づく会員対象となり得る団体に入会の呼び掛けを行います。      |
| 種別会員会議の実施           | 必要に応じて各種別会員との連絡会議を実施し、情報の共有<br>化をはかります。 |

### 地域の皆様に期待すること: できることの一例

区社協を構成する団体(会員)の一員として、地域福祉の推進のために区社協が実施 する取り組みに協力します。

関係する福祉団体に区社協会員への加入を勧めます。



会員規程を整備し、法人運営の基盤強化を図ることで、区社協を軸とした会員相互のネットワークを拡大し、人材や事業の充実に繋げます。

そして、新たな区社協の仲間(会員)を増やし、区社協の活動についての理解者を増えていくことで、より一層の地域福祉の推進に努めます。

Ⅲ 第2期計画の総括と第3期計画の

34

IV 資

### 各事業での具体的な取り組み

次の各事業については、第2期計画での評価及び分析により検討した第3期計画での方向性に基づいて、取り組みを実施してまい ります。

| No. | 実施事業             | 事業內容                                                                                                                                                                                                         | 第3期計画での方向性                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| -   | 理事会·評議員会·監事会等    | 法人の運営方針等を検討するために、理事会・評議員会・監事会を適宜実施するとともに、法人の運営上で必要な会議・委員会を合わせて実施する。                                                                                                                                          | 審議すべき事項が生じた際に、速やかに会議を実施していきます。                                                                                                                                                                                                             |
| 2   | 賛助会員の募集と配分       | 区社協の賛助会員制度に基づき、区社協及び<br>各地区社協が進める地域福祉活動の趣旨に賛同<br>いただける方を対象に、区社協の賛助会員とし<br>て登録いただき、賛助会費(1 ロ 1,000 円)を<br>納めていただくことで、社協の活動を資金面か<br>ら支援していただく。<br>賛助会員の募集にあたっては、地区社協と協<br>力して実施し、集まった賛助会費を財源として<br>地区社協への助成を行う。 | 区社協及び地区社協が進める地域福祉活動の財源<br>を確保するために、社協が進める地域福祉活動及び賛<br>助会員制度の趣旨に賛同していただけるように努め<br>ます。<br>また、区社協及び地区社協に関係のある地域住民だ<br>けではなく、社協との関係が希薄な世代に対してのア<br>プローチを行っていきます。<br>なお、賛助会員制度のあり方については、会員及び<br>会費等検討委員会での会員・会費制度の見直しに併<br>せ、その内容についての見直しを進めます。 |
| ဇ   | 職員研修             | 職員の研さんを目的とした研修を実施する。                                                                                                                                                                                         | 総合相談、苦情解決等への対応の仕方を含め、社協職員としての資質の向上を目指します。<br>年度初めには、職員間で各事業の内容確認を行い、<br>事業についての理解度を深めると共に情報の共有化<br>を図ります。<br>また、各事業でのマニュアル等の整備を進めます。                                                                                                       |
| 4   | 区社協·地区社協役員<br>研修 | 区社協役員及び会員、地区社協を対象に、資質の向上のための研修会を実施する。                                                                                                                                                                        | 区社協役員及び会員、地区社協の研さんを目的とし<br>た研修会を年1回程度企画·実施します。                                                                                                                                                                                             |

| No. | 実施事業     | 事業内容                                    | 第3期計画での方向性                                                                                                                                           |
|-----|----------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| വ   | 苦情解決     | 利用者からの苦情に対する適正かつ迅速な対応を行う。               | 苦情解決への理解を全職員に向けて行えるよう、研修受講の機会を拡充します。                                                                                                                 |
| 9   | 地域福祉活動計画 | 地域福祉活動計画の進ちょく状況について、<br>適時、確認・評価・修正を行う。 | 担当理事会を中心に、地域福祉活動計画の進ちょく<br>状況や計画事業の評価・課題等について共有し、区社<br>協の事業の方向性についての検討を進めていきます。<br>また、第3期計画の評価や第4期計画の策定に向け<br>て、区社協の会員を始めとした地域の福祉ニーズの把<br>握を行っていきます。 |

## 〇寄付金品の受入れ及び助成(担当:法人運営部門)

| 2 | 実施事業         | 事業内容                                                                                                                                              | 第3期計画での方向性                                                                                                                                                      |
|---|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7 | 寄付金品の受入れ及び配分 | 地域住民等から寄せられる寄付金品について、「寄付金品配分委員会」において、その活用<br>方法を検討するとともに、障害等当事者団体や<br>ボランティアグループを対象に寄付金を財源と<br>した運営活動費の助成を行う。<br>また、寄付金による自主財源の確保のための<br>広報活動を行う。 | 区社協に寄せられる寄付金品の活用方法を明瞭にし、分かりやすく説明することで、協力者の増加に繋がるように努めていきます。<br>運営活動費の助成については、財源となる寄付金の受入状況等を踏まえた上で、その金額及び対象等について検討していきます。<br>広報については、その方法及び媒体について更なる検討を進めていきます。 |
| ∞ | 行事助成金        | 共同募金からの配分金を財源に、障害当事者<br>団体やボランティアグループ等が実施する行事<br>への助成を実施する。                                                                                       | 障害当事者団体やボランティアグループ等への行事助成を行うとともに、共同募金配分金の配分状況を踏まえながら、「寄付金品配分委員会」において、その助成対象や助成金額についての検討を進めていきます。                                                                |

IV 資

料

I 地域福祉活動計画の策定にあたって

Ⅲ 第2期計画の総括と第3期計画の

料

## 育て支援の推進(担当:地域福祉活動推進部門)

| <u>9</u> | 実施事業           | 事業内容                                                                                               | 第3期計画での方向性                                                                                                                                                                                                            |
|----------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6        | 子育てサロン「いちにのさん」 | 0 歳から 2 歳くらいまでの子どもとその保護者が自由に過ごせるフリースペースとして、保育ボランティアグループ「ぽけっと」の協力のもと、毎月1回、川崎市立稲田小学校を会場に子育てサロンを実施する。 | サロンの実施内容が子育て世代のニーズに合った<br>ものとなるよう、保育ボランティアとの連携を取りな<br>がら、定期的なサロンの実施を進めます。<br>異世代交流を進めるために近隣住民や学校 PTA 等<br>に対しての参加・協力を呼びかけるとともに、区保健<br>福祉センター等が実施する乳幼児健診等でサロンの<br>広報を実施していきます。                                         |
| 10       | 小地域での子育て支援の展開  | これまでの子育てサロン運営からの経験や様々な団体との連携により地域福祉を進める社協の特性を活かした、小地域での子育て支援活動について実施及び検討を行う。                       | 地域の実状を踏まえた上で、子育てサロン「いちに<br>のさん」をモデルとした区社協としての子育てサロン<br>の地域展開について検討するとともに、子育て支援活<br>動を実施する・実施していきたい団体等と連携し、小<br>地域での子育て支援活動を進めていきます。<br>また、多摩区役所こども支援室との連携を図り、お<br>互いが取り組む支援の方向性についての確認を行い、<br>区社協として実施していく子育て支援のあり方につ |
| 11       | 母親クラブの育成       | 各地区社協の承認を得た自主グループである「母親クラブ」に対して、情報提供及び活動費の助成を行う。                                                   | グループでの活動が安定して進められるよう、活動<br>財源面での支援を行うとともに、子育て当事者が仲間<br>とともに積極的な活動を行っていけるよう、情報提供<br>等の支援を進めていきます。<br>また、現在活動している「母親クラブ」がどのよう<br>な支援を求めているかについてのニーズを把握し、育<br>成内容等について検討を行います。                                           |
| 12       | 子育て支援関係者との情報交換 | 区内の子育て支援関係者同士の繋がりを築くために、関係者同士の情報交換の機会を作る。                                                          | 子育て支援関係者への呼び掛けを行い、活動内容等<br>の情報交換の機会を作り、区内での子育て支援活動が<br>安定して進められるように働き掛けます。                                                                                                                                            |

|     | # <del> </del>       | Ì                                                          | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1                                     |
|-----|----------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| NO. | 芙施事業                 | 事業內容                                                       | 第3期計画での万向性                                                                  |
| 13  | 子育て支援活動者向け<br>講座·研修会 | 既存の活動者·団体のスキルアップや新たな活動者·団体の発掘·育成に向けて、子育て支援に関する講座や研修会を実施する。 | 子育てサロン等で支援に関わる人材の交代等があっても、その活動が継続的に実施していかれるよう、活動の担い手を育てるための講座·研修会を実施していきます。 |

| <br>No. 実施事業    | 事業内容                                | 第3期計画での方向性                                          |
|-----------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 4 関係施設・団体との情報交換 | 区社協会員を中心とした、区内福祉関係施設や団体相互間の情報交換を行う。 | 各関係機関の専門性や特徴、考え方への理解を深め<br>た上で、円滑な連携を目指し、関係性を強化していき |
|                 |                                     |                                                     |
|                 |                                     | また、各種事業へ協力いただいている福祉施設や団                             |
|                 |                                     | 体等との情報交換の場を検討していきます。                                |
|                 |                                     |                                                     |

### ○福祉活動の推進(担当:地域福祉活動推進部門)

| No     実施事業       15     地区社協組織強化支援 | <b>事業</b>                             | <b>学中</b> 森里                                       |                                                                                                                                      |
|-------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15 地区社協組織                           | 四十二/ 5元年                              | 争耒内谷                                               | 第3期計画での方向性                                                                                                                           |
|                                     | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 活動に関わる財政的支援と地域担当職員による組織活動の支援を行う。                   | 地域担当職員が各地区社協の役員会等に出席することで、各地区での共通課題についての把握を行うとともに、課題及び情報の共有化を図り、解決方法等についての検討を進めていきます。また、賛助会費や共同募金を財源とした活動財源の助成を行い、地区社協の活動支援を進めていきます。 |
| 16 高齢者ふれあい活動                        | あい活動                                  | 市社協が実施する「高齢者ふれあい活動支援<br>事業」の対象団体への活動費の助成及び情報提供を行う。 | より多くの団体が助成金を申請できる環境を作り、<br>活動が活発になるよう働き掛けていきます。                                                                                      |

I 地域福祉活動計画の策定にあたって

IV 資

料

IV 資

| <u>8</u> | 実施事業     | 事業内容                                    | 第3期計画での方向性                                                                                        |
|----------|----------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17       | 小地域活動の推進 | 地域の活動団体や活動内容等の把握に努め、地域のニーズにあった活動の支援を行う。 | 各種会議や住民懇談会で収集した情報を整理し、支援の方向性について検討していきます。<br>また、地区社協を中心に NPO 法人やボランティアグループ等とも情報を共有し、連携を深める事に努めます。 |

## 〇総合相談支援(担当:福祉サービス利用支援部門)

| <u>8</u> | 実施事業      | 事業內容                                       | 第3期計画での方向性                                                                                                                                                                                       |
|----------|-----------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8 -      | 18 総合相談支援 | 多摩区内の福祉サービスや福祉制度への問い合わせ、生活相談等について適切な対応を行う。 | の福祉サービスや福祉制度への問い 初回相談に対して相談カードを活用した相談内容<br>ら相談等について適切な対応を行う。 の記録を徹底するとともに、事務所内での情報の共有<br>化を図り、全職員が統一した対応を取れる体制を整え<br>ます。<br>ます。<br>また、必要な福祉情報を適宜提供できるよう、福祉<br>制度に関する情報、地域の福祉情報等の継続的な収集<br>に努めます。 |

# ○在宅福祉の推進(担当:在宅福祉サービス部門・地域福祉活動推進部門)

| No. | 実施事業    | 事業内容                                                                                                                                          | 第3期計画での方向性                   |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 19  | 車椅子の貸出し | 多摩区に在住で高齢や障害、疾病等により自立<br>歩行が困難な方及びその支援者等で、介護保険等<br>の公的サービスによる対応ができない場合、また、多摩区に所在地のある教育機関等で福祉に関<br>する授業や研修等を行う場合に、原則1ヵ月間ま<br>での臨時的な車椅子の貸出しを行う。 | 車椅子の貸出しを行うことで、区内の福祉の推進を図ります。 |

| <u>.</u> | 実施事業          | 事業内容                                                                                                                                                     | 第3期計画での方向性                                                           |
|----------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 20       | 福祉用具の貸出し      | 多摩区に所在地のある教育機関等で福祉に関する授業や研修等を行う場合に、原則2週間までの福祉用具の貸出しを行う。                                                                                                  | 福祉学習に必要な高齢者疑似体験セットや妊婦体験ジャケット等の疑似体験用具等の貸出しを行うことで、区内の福祉学習の実施の支援を行います。  |
| 21       | 年末たすけあい運動配分事業 | 年末たすけあい募金の配分金について、「年末<br>たすけあい運動配分委員会」において活用方法等<br>についての協議を進めるとともに、①慰問金申請<br>世帯への年末慰問金の配布、②地区社協が進める<br>地域福祉活動の活動財源となる助成金の交付、③<br>区社協が実施する地域福祉事業への配分等を行う。 | 「年末たすけあい運動配分委員会」において、慰問金が必要とされる対象世帯の要件を、募金者の主旨や配分協力者の意見を踏まえながら検討します。 |

### ○指定管理事業(担当:法人運営部門)

| 方向性      | ノールの整備を進め、区<br>こうに努めます。<br>は等を実施して、川崎市<br>いのできる管理運営に努                              |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 第3期計画での方 | 各老人いこいの家の利用ルールの<br>内で統一した対応ができるように努<br>また、適宜、管理人研修会等を実<br>の要綱に則った、安全で安心のでき<br>めます。 |
| 事業内容     | 区内7館の「老人いこいの家」の第3期指定管理者として、各館の管理運営や、これに伴う事務作業等を行う。                                 |
| 実施事業     | 老人いこいの家指定管理                                                                        |
|          |                                                                                    |

# ○委託事業(担当:福祉サービス利用支援部門・在宅福祉サービス部門)

| 23 高齢者フリーパス 川崎市から川崎市高齢者外出支援乗車事業を フリーパスの発券ルールに基づき、適切な<br>受託し、川崎市高齢者フリーパスの販売を行う。 応を実施します。 | No. | 実施事業 | 事業内容                                      | 第3期計画での方向性                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----|------|-------------------------------------------|-----------------------------|
|                                                                                         | 23  | 齢者フリ | 崎市から川崎市高齢者外出支援乗車事業<br>し、川崎市高齢者フリーパスの販売を行う | フリーパスの発券ルールに基づき、<br>を実施します。 |

IV 資

料

I 地域福祉活動計画の策定にあたって

資

料

| No. | 実施事業      | 事業內容                                                                                                                                                             | 第3期計画での方向性                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 24  | あんしんセンター  | 市社協との委託契約に基づく日常生活自立支援事業において、福祉サービスの契約や金銭管理等に不安がある高齢者・障害者を対象に、①福祉サービスの利用援助、②日常的な金銭管理、③書類等預かりを行う。また、高齢者・障害者の生活及び日常的な金銭管理に関する相談や、成年後見制度の利用に向けた申立手続の案内と関係機関の情報提供を行う。 | 市社協が立ち上げた「日常生活自立支援事業検討会」へ参加し、多摩区の現状を報告するとともに、<br>円滑かつ継続可能な運営確保に向けた取り組みを進めます。<br>区役所(福祉事務所、高齢者支援、障害者支援担当等)、地域包括支援センター、障害者相談支援センター等と利用者の支援を通じて、更なる連携を進め、身近な相談窓口としての運営を図っていきます。                               |
| 25  | 福祉パルたまの管理 | 川崎市からの委託事業として、「福祉パルたま」の管理運営を行う。                                                                                                                                  | 福祉パルたまを利用する団体に対して、研修室及びボランティアコーナーの利用方法を周知徹底し、全ての団体が快適に利用できる環境作りを進めていきます。<br>併せて、研修室及びボランティアコーナーの利用率の増加に向けて、新しい団体の利用に繋がるような周知方法等を検討していきます。<br>また、福祉情報を求めて来館された方が必要な情報を得やすい環境を作るため、引き続き館内のチラシ等の設置方法の工夫を図ります。 |
| 26  | 生活福祉資金貸付  | 神奈川県社協との委託契約に基づいて、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯等への生活福祉資金の貸付を行う。                                                                                                             | 生活福祉資金貸付制度に基づき、関係機関と連携<br>し、情報共有を行いながら支援を進めます。<br>全職員が制度についての一定の理解が進むよう、<br>全市的な研修カリキュラムについて川崎市社協と検<br>討し、情報の共有化を図っていきます。<br>また、他制度の情報についても職員間での共有化<br>を図っていきます。                                           |

|                    |            | 関係機関とのを進めていき                                                          | 局、地区民生<br>関との連携を<br>員相互の連携                                                                      | くう、事務<br>Fっていき                                        |
|--------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
|                    | 第3期計画での方向性 | 共同募金の実績額の増加に向けて、関係機関と<br>連携を深めながら、効果的な広報活動を進めています。                    | 川崎市民生委員児童委員協議会事務局、地区民委員児童委員協議会事務局等の関係機関との連携図り、情報の共有化、民生委員・児童委員相互の連の強化のための支援を進めます。               | 運営委員の主体的な活動が進められるよう、事局として運営委員会への継続した支援を行っています。        |
| 動推進部門)             | 事業内容       | 神奈川県共同募金会川崎市多摩区支会として、<br>共同募金運動の取りまとめを行い、地域福祉の推進のための活動を行う福祉関係団体を支援する。 | 多摩区民生委員児童委員協議会 (主任児童委員<br>部会を含む)の事務局として、多摩区内の各地区<br>民生委員児童委員協議会の活動支援を行い、民生<br>委員・児童委員相互の連携を深める。 | 多摩区当事者·ボランティア連絡会「たまわかくさ」の事務局として、たまわかくさ運営委員会への活動支援を行う。 |
| 団体事務(担当:地域福祉活動推進部門 | 実施事業       | 神奈川県共同募金会川<br>崎市多摩区支会                                                 | 多摩区民生委員児童委員協議会                                                                                  | 多摩区当事者·ボラン<br>ティア連絡会「たまわ<br>かくさ」                      |
| 巨                  | No.        | 27                                                                    | 28                                                                                              | 29                                                    |

地域福祉活動計画の策定にあたって

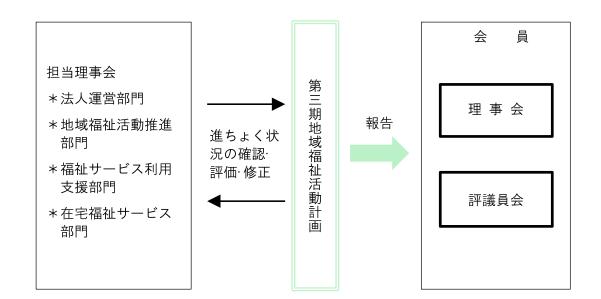
IV

### 5

### 計画の進行管理

策定した計画については、本協議会の理事から構成される担当理事会(法人運営部門・地域福祉活動推進部門・福祉サービス利用支援部門・在宅福祉サービス部門)において、重点取組を中心とした進ちょく状況の定期的な確認・評価・修正を行い、進行管理を実施します。

また、その結果は直近の理事会・評議員会にて報告を行います。





### 資料

### 担当事業分野別理事(担当理事)

区社協では、第 1 種から第 10 種までの様々な福祉関係団体や個人の会員により 構成された種別ごとの会員の代表者によって、法人組織として理事会や評議員会が 組織されています。

理事会は事業の執行機関として位置付けられており、実際の運営を行っています。 担当事業分野別理事(担当理事)は、各種別から選出された理事が各々の専門性 と経験から区社協の法人組織運営及び事業活動分野を担当することによって、区社 協が法人組織として一層の発展と充実強化を図ることを目的に設置しています。

各事業活動分野の進ちょく状況の確認や評価等を行う担当理事会は、法人運営· 地域福祉活動推進・福祉サービス利用支援・在宅福祉サービスの4つの部門に分かれ、 概ね半期に一度、各事業分野の進ちょく状況の確認及び評価等を行っています。

### (敬称略)

| 部門       | 理事名                                         | 選出先                                                                                               | 種別                                   |
|----------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 法人運営     | 三竹 隆雄<br>田村 弘志<br>大津 努<br>古谷 欣治             | 稲田地区社会福祉協議会会長<br>中野島地区社会福祉協議会会長<br>多摩区民生委員児童委員協議会副会長<br>多摩区町会連合会監事                                | 2<br>種<br>2<br>種<br>3<br>種<br>5<br>種 |
| 地域福祉活動推進 | 井口<br>吉田紀代子<br>末吉<br>石橋<br>吉<br>渡辺ひろみ<br>藤原 | 菅地区社会福祉協議会会長<br>多摩区民生委員児童委員協議会会長<br>多摩区町会連合会副会長<br>多摩区身体障害者児団体協議会会長<br>コスモスの家理事長<br>多摩区老人クラブ連合会会長 | 2 種 種 種 種 種 種 種                      |
| 福祉サービス   | 石川 公二<br>溝江 光運<br>黒岩 亮子                     | 特別養護老人ホーム菅の里施設長<br>多摩区保護司会会長<br>学識経験者                                                             | 1種<br>4種<br>10種                      |
| サービス     | 原田 知治中村 健                                   | 生田地区社会福祉協議会会長多摩区医師会会長                                                                             | 2 種<br>8 種                           |

※平成26年3月時点

### 2期計画の評価

| 田当  | No. | 実施事業                       | 事業內容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 第2期計画<br>の方向性                                                                                                                | 具体的な<br>事業の展開                                                                                                                                                                                                                                                                 | 第2期計画<br>に対する評価                                                                                                                                                                                                                                                                      | 第2期計画<br>での課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|-----|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) |     | 法人運営の強化                    | it.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ガイ  | -   | 会 動 し<br>の 見<br>の 記<br>会 恒 | 多摩区社会福祉協議<br>全の会員を構成する、1<br>種から 10 種末での種<br>別ごとの会員構成及び<br>会費の見直しを行う。<br>(第 1 種 公社社会福祉<br>事業施設・団体、第 2 種<br>地区社会福祉協議会、<br>地区社会福祉協議会、<br>地区中公会電社協議会、<br>地区明内会達合会、第 5 種<br>地区明内会達合会、第 5 種<br>地区明内会達合会、第 5 種<br>体、第 7 種 ボンディブゲ<br>ループ、第 8 種 社会福祉<br>に関係あるその他の団<br>体、第 9 種 社会福祉<br>に関係あるその他の団<br>体、第 9 種 社会福祉<br>に関係あるその他の団<br>保、第 9 種 社会福祉<br>に関係あるその他の団<br>保、第 9 種 社会福祉<br>に関係数も、20 種 社会福祉<br>に関係あるその他の団<br>保、第 9 種 社会福祉関<br>係、第 9 種 社会福祉関<br>経等行政機関、第 10 種 | 協議会による。<br>及域をによる「を<br>対域を<br>では、<br>で、<br>を<br>の<br>に<br>を<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の | 会員のニーズ、や活動状況を把協議会の報告者に沿った、多摩区社会福祉協議会の会員及び会費の見直しや会員の刈りの整理などを行い、平成、25年度から新体系での会員制度を実施します。  NPO 法人格を持った会員が所属する種別と、その会費の額を検討します。  S摩区内の福祉関係施設や活動団体・グループを対象に、新規会員募集の呼び掛けを、新報報に併せて、広報部やホームページ、などで行います。 事業、ル44「関係施設・国体との情報交換」と連動しながら、多摩区社会福祉協議会会員に対するかかわり方及び会員相互の連携について検会員相互の連携について検 | 平成25年度から新体系での会員制度を実施するという計画当初の事業展開には至らず、計画最終年度の平成25年度に会員及び会費等検討委員会を設置し、具体的な検討へと取りかり始めました。  法人格を持つ会員の種別や会費額などについて、既存の会員の種別や会費額などについて、既存の会員の種別や会費額などのの表される。一方の活用、多摩区社会をひいくこととなりました。  広報誌やホームページの活用、多摩区社会福祉大会や各種会議などでの呼び掛けを行い、広く新規会員としてボジディアがました。  第6種会員・第7種会員合同種別会議において情報交換を行うことで額の見た。 | 引き続き、会員・会費制度についての<br>見直しを行う必要があります。<br>また、会員に加入した場合の刈小など<br>について整理、見直しを行い、各会員へ<br>の具体的な提示ができるよう検討を進<br>める必要があります。<br>第 2 期計画内においては、種別や会<br>費額などの詳細な検討に至っていな<br>いため、引き続き検討を進めていく必<br>要があります。<br>第 1 種(公私社会福祉事業施設・団<br>体)会員については、区内の施設数が<br>増加しているにも関わらず、本計画期<br>間中の会員の増減がなく、新設された<br>施設や団体に対する積極的な呼び掛<br>けを行うという姿勢が不足していま<br>した。<br>第 6 種会員・第 7 種会員合同種別会<br>議やでの情報交換に努めたましたが、<br>連携の方策についての具体的な検討<br>まで至りませんでした。 |

 $\blacksquare$ 

第3期計画の考え方と方向性

地域福祉活動計画の策定にあたって

## (区民の理解・協力を得られる組織運営の強化》 つとめる

担当

| 2 | 実施事業             | 事業内容                                                                                               | 第2期計画<br>の方向性                                                                                                  | 具体的な<br>事業の展開                                                                                                         | 第2期計画<br>に対する評価                                                                                                                                   | 第2期計画での課題等                                                                                                                   |
|---|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   |                  | 地区社会福祉協議会及び多摩区社会福祉協議会の事業に賛同される方に、賛助会費(1 ロ1,000 円)を納めていただくことによって、賛成くことによって、貧助会員として、資金面で活動を支援していただく。 | 黄助会員の応導<br>につながるよう、PR<br>方法について引き<br>続き検討する。<br>費助会費が多摩区<br>社会福祉協議会や<br>地区社会福祉協議会や<br>地区社会福祉協議会や<br>超区社会福祉協議会や | 多摩区社会福祉協議会及<br>び地区社会福祉協議会が実<br>施する事業の総続性・安定<br>性を確保するため、積立基<br>会的なイメージで賛助会費を<br>募り、地域住民だけでなく<br>所属会員の方にも協力を依<br>頼します。 | 社会福祉協議会が実施する事業の<br>財源を確保するため、福祉パルたま内<br>での周知及び募集、各地区社会福祉協<br>議会を通じての賛助会員の募集を呼<br>び掛けました。<br>また、多摩区社会福祉大会での周知<br>や若い世代に向けてホ-ムペ・ジを活用<br>した広報も行いました。 | 地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員協議会、町会・自治会の協力を得て広く地域住民に募集を呼び掛けたが、賛助会費の実績額及び件数の増加に繋がっていない現状があります。                                         |
| 0 | 賛<br>の<br>基<br>無 | 地区社会福祉協議会<br>と協力して、賛助会員<br>の募集を行う。                                                                 | <ul><li>ぶであり、その庫要性について 田 解がつれる よい 働 を はいれる よい 働 はけを行う。</li></ul>                                               | 賛助会員の募集に関して、写真やキャッチュピ、活動者のコメルなど、可視的なアピール方法や理解を得やすい名称を検討します。                                                           | 賛助会員募集のチランに文字だけの説明だけではなく、写真を多く取り入れ、視覚的に事業内容がイメージできるように改善を行いました。また、各地区社会福祉協議会の事業紹介や参加者コメント欄を設け、賛助会費が具体的に地域事業へどのように活用されているかを周知しました。                 | 平成 24 年度までの賛助会員の募集<br>チランは、制度内容の説明の部分が多<br>く、加入を促すような内容ではありま<br>せんでした。<br>引き続き、分かりやすく、見やすい<br>内容へのチラン内容の改訂を進めてい<br>く必要があります。 |
|   |                  |                                                                                                    |                                                                                                                | 賛助会員の募集に関っている地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員協議会、町会・自治会などとの間で、取り組み状況や課題の共有を行う場を設けます。                                              | 平成 20 年度から 5 年間の賛助会費の実績額及び会員数の推移、各地区社会福祉協議会によって異なる募集方法を地区社会福祉協議会を通じて共有することができました。                                                                 | 各地区社会福祉協議会を通して各地区での課題を共有しましたが、多摩区社会福祉協議会としてその課題に対しての具権に対しての具権に対しての具体的な検討、取り組みまで繋げることができませんでした。                               |

法人

## 《区民の理解·協力を得られる組織運営の強化》 つとめる

|                                               |                                               |                                               | 1 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日                                               | 日午出た                                                                                                   | 日に足りま                                                                                                                                                                         | 当時の事                                                                           |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 実施事業                                          |                                               | 事業内容                                          | 第2期計画の方向性                                                                                | 具体的な<br>事業の展開                                                                                          | 第2期計画に対する評価                                                                                                                                                                   | 第2期計画での課題等                                                                     |
| 14 九 86                                       | またた寄                                          | 賛助会費や寄付金による自主財源の確保のため、広報活動を行う。<br>寄付金については、「寄 | 寄付金の減少が<br>著しいため、財源の<br>確保が課題である<br>ことを視野に入れ                                             | 平成 21 年度に作成した寄付金の働き掛けの際に使用するパンフレットの見直しを行います。                                                           | 平成 22 年度にパンルがを作成し、年度ごとに随時内容を更新しています。                                                                                                                                          | 自主財源の造成のためにパンプルがを作成しましたが、地域住民に広く周知をできていません。                                    |
| <u>,                                     </u> | <u>,                                     </u> | 付金品配分委員会」において、その活用方法を検討する。                    | に ながら、募集力法の<br>強型を行う。<br>動助会費や寄付<br>他を財源として実<br>施している事業の<br>理解が得られるよ<br>う、広報活動を強化<br>する。 | 多摩区社会福祉協議会寄付金の配分を受けた団体が実施する事業を、多摩区民の方々に理解していただけるよう、また、広報及び協力者の拡充につながるよう検討します。                          | 寄付金品配分委員会において、<br>広報用の寄付金品に関するパンフレットを作成しました。<br>また、ホームページや広報紙などを<br>活用して広報活動を行うととも<br>に、多摩区社会福祉大会や多摩ふれあいまつりなどの多くの地域住<br>民が集まる機会に活動 PR スライドショーの上映やパンフレットの配布を行い、<br>広報活動に努めました。 | 広報活動に対しての明確な効果が把握できないため、継続した広報活動の実施が必要となります。                                   |
| 田田田の<br>の造<br>成<br>対                          |                                               |                                               |                                                                                          | 協賛金の募集やイベント等で、募金箱の設置場所などを大々的に PR するため、多摩区社会福祉大会など多くの人が集まる場で具体的な案内を行い、事業Mc 20[リ-フレットの作成」と注動して広報活動を行います。 | 多摩区社会福祉大会や各種おまつりなど多くの人が集まる場で、募金箱の設置や自主財源確保のための広報を行いました。                                                                                                                       | 自主財源の確保に向けた広報活動を実施していますが、実績として明確に現れていない現状があります。                                |
|                                               |                                               |                                               |                                                                                          | 広告費等新たな財源の確保について検討を行います。                                                                               | より現実的で安全な財源確保の方法として、繰越金の定期預金への一部繰入れなどによる資産運用を行いました。                                                                                                                           | 財源の確保については、現実的に取り組むことできる方法が限られており、効果的な財源の確保が難しい状況にあります。実現性の高い計画的な財源作りが必要となります。 |

Ⅲ 第2期計画の総括と第3期計画の

地域福祉活動計画の策定にあたって

### 2 F 8 2 C 《区民の理解·協力を得られる組織運営の強化》

| 型៕                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 9€ | 実施事業    | 事業内容                      | 第2期計画の方向性                                                        | 具体的な事業の展開                                                                                                                            | 第2期計画に対する評価                                                                     | 第2期計画での課題等                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------|---------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ガ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | м  | 自主財源の造成 | (前頁同様)                    | (前頁同様)                                                           | 平成22年度から障害者団体などの行事助成を行うための財源に、共同募金を充当することにより、継続的に事業が展開できるように、体制を整えました。事業の継続性が図れているか検証を行います。                                          | 平成 22 年度から財源を共同募金配分金へと変更しましたが、これまで申請件数及び助成額の大幅な増減なども生じておらず、安定した助成事業の実施が図られています。 | 助成金の財源となる共同募金配分<br>金の減少、申請件数及び助成額の大幅<br>な増加などの傾向が見られた際に、改<br>めて財源の持ち方についての検討が<br>必要になります。         |
| <b>地</b> 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 4  | 指<br>を  | 利用者からの苦情に対する適正かつ迅速な対応を行う。 | 古情に対する職員の認識や意識付けについて、多摩区社会福祉協議会内での取り組みを検討する。                     | 職員の資質向上のための<br>研修を行います。(実施事業M.<br>5.職員の研修」において具体<br>的に実施)<br>各区社会福祉協議会での<br>相談窓口の状況を踏まえ、全<br>市的・統一的な対応が取れる<br>ような仕組み作りについて<br>検討します。 | 外部研修を利用し、苦情解決が適切かつ迅速に行われるように努めました。<br>を区の初回相談の受付方法などに<br>ついての実態についての確認を行いました。   | 苦情解決について、全職員が理解を<br>深める機会を設けるには至っていま<br>せん。<br>各区統一した形式での相談受付方<br>法の確立、相談カードの様式作成などに<br>は至っていません。 |
| ガイ しょうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう | rv | 番買の事    | 職員の研さんを目的とした研修を実施する。      | 総合相談、古情解<br>大等への対応の仕<br>力を含め、社会福祉<br>協議会職員として<br>の貧質の向上を目<br>指す。 | 多摩区社会福祉協議会で<br>実施している事業を、全職<br>員が理解して、それらの情報等を共有化しながら、課題の解決に取り組めるよう<br>エ夫します。<br>また、多摩区社会福祉協議会と地区社会福祉協議会と地区社会福祉協議会との連携が、今以上に図れ       | 生活福祉資金などの初回相談について、全職員で対応できるように職員間での学習会を適宜実施し、情報の共有化を図りました。                      | 職員の異動などによって職員ごとの事業に対する理解度に差が生じており、全職員が統一した対応を取れていません。                                             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |         |                           |                                                                  | 相談や苦情などの窓口及<br>び電話対応について、事例検<br>討による自主研修を実施し<br>ます。                                                                                  | No.4 上段と同様                                                                      | No.4 上段と同様                                                                                        |

## 《区民の理解·協力を得られる組織運営の強化》

|                                                                                         |                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 体のお引用                                                                                                              | 日午がた                                                                                                           | 年の出土田                                                                                                                                                                                                                                         | 1                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| No. 実施事業 事業内容                                                                           |                                                                                   | 事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 乗 ∠ 期計画<br>の方向性                                                                                                    | 具体的な<br>事業の展開                                                                                                  | 男∠規計画<br>に対する評価                                                                                                                                                                                                                               | <b>第2朔計画</b><br>での課題等                                                  |
| 第2期地域福祉活動<br>計画の実施結果につい<br>て、適時評価を行う。<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 | 第2期地域福祉活動計画の実施結果について、適時評価を行う。 (で、適時評価を行う。 (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) | 第2期地域福祉活動計画の実施結果について、適時評価を行う。 は 適時評価を行う。 は 適時評価を行う。 は 適時評価を行う。 は 適時 は できまる は できまる は できまる は しょう は しょ は しょ | 担当理事を中心<br>に、具体性・実行性の 1<br>ある計画の推進を<br>目指す。 多摩区民に第 2<br>期地域福祉活動計 4<br>画を発信する中で、<br>地域でのニ-ズの把<br>握と地域福祉の容 (経活動を行う。) | 担当理事会を中心に、地域福祉活動計画の進ちよく状況や計画事業の評価・<br>課題などについて、半年に1回程度会議を開催し、次年度の計画に反映できるようにします。<br>第3期地域福祉活動計画の策定に向けた検討を進めます。 | 適宜、担当理事会を開催し、各種事業の進ちよく状況を報告、方向性を確認しながら事業の運営を行いました。第3期地域福祉活動計画の策定にあたっては、地域住民懇談会や種別会員アケトの結果を基に、担当理事会を中心に内容の検討を進めました。                                                                                                                            | 現状を維持します。                                                              |
| 地域福祉<br>活動計画<br>の推進                                                                     |                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                    | 第 2 期地域福祉活動計画<br>の評価や第 3 期の策定に向<br>けて、地区社会福祉協議会<br>地区民生委員児童委員協議<br>会、町会、老人クラブ、子ども会<br>子育てサロンなどのニ-ス、の把握を行います。   | 各地区社会福祉協議会に協力い<br>ただき、地域のニース、を把握するため<br>の「地域住民懇談会」を5つの地区で<br>開催しました。<br>また、種別会員アンケートとして本会<br>各種別会員へのアンケート調査を行い、<br>多摩区社会福祉協議会に対しての<br>意見や思いなどについての確認を<br>行いました。<br>地域住民懇談会及びアンケーで頂戴<br>上校意見については、その内容を精<br>直し、第3期地域福祉活動計画への<br>基礎資料として活用しました。 | 地域住民懇談会や種別会員アンケ-トから得た地域からのニ-ス,について、その内容を活かした地域福祉活動計画の策定及び事業の実施が求められます。 |
|                                                                                         |                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                    | 第2期地域福祉活動計画の概要版リーフレットは作成しました。 第3期地域福祉活動計画の策定時に概要版リーフレットを作成するか検討を行います。                                          | 多摩区社会福祉協議会の説明や各種おまつりなどの開催時の配布用資料として活用しました。                                                                                                                                                                                                    | 記載内容を精査し、見やすく、分かりやすいリーフレット作りが必要となります。                                  |

地域福祉活動計画の策定にあたって

 ${\rm I\hspace{-.1em}I}$ 

50

### すすめる らせる. 《区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興》

| 田 ៕ | _     | 実施事業                  |                                                                       | 第2期計画 の方向性                | 上でファンの<br>具体的な<br>事業の展開                                                                                | 第2期計画に対する評価                                                                                       | 第2期計画での課題等                                                                       |
|-----|-------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
|     | (1) ボ | ランティ                  | ア活動の推進                                                                |                           |                                                                                                        |                                                                                                   |                                                                                  |
|     |       |                       | 多摩区ボランティアセン<br>タ-運営委員会で、「多<br>摩区ボランティアセンタ-」<br>が実施する事業及び<br>その内容等の検討を | 活設が定                      | 多摩区ボランティアセンタ-運営委員会を定期的に開催し、事業の安定した企画・運営を行います。                                                          | この 5 年間は各年度で運営委員会を9 回開催し、定期的に運営委員会を行うことができました。また、運営委員会の中で各事業の安定化に努めました。                           | 運営委員会内で発言するメンバ・が固定化されてしまい、運営委員全員が積極的に参加するような会議の運営を行う必要があります。                     |
| 岩英  |       | 多摩区ボ<br>ランティアセ<br>ンタ- | 行営体を ヘう委的促まる                                                          |                           | 多摩区ボランティアセンタ-運営<br>委員の研さんのため、研修会<br>を開催します。                                                            | 他都市のボランティアセンターの見学や運営委員との意見交換会、防災センターの視察、日本ボランティアコーディネーター協会の講義などを通じて、運営委員の研さんの機会を設けました。            | 研修会によっては研さんの場という形で終わってしまったものもあり、研修で得た知識・アイディアを運営委員会や講座の企画・運営に活かせない部分がありました。      |
|     |       |                       | 沢 <u>物買の</u> 姓さんの場として、<br>よして、<br>年ずる。<br>在する。                        | ロ米るよう、事業を定画・実施する。         | 多摩区ホランティアセンタ-運営委員による主体的な運営につながるよう支援を行います。                                                              | ボランティアセンタ-の事業に担当制を設け、担当の運営委員を中心に主体的な事業の企画・運営を行いました。                                               | 各運営委員が担当する事業については企画・運営に主体的に関わっていただいている一方で、担当外の事業については積極的な関わりができていないという課題が生じています。 |
| 対保  | ∞     | ボランテイ7<br>相談 支援<br>** | 多摩区社会福祉協議会職員が、窓口や電話でボランティアの相談を受け、ボランティアの相談を受け、ボランティア活動や派遣の依頼等に対応する。   |                           | 多摩区ボランティアセンケ-運営委員がボランティアの相談を受け付ける「たまぼらひろば」を平成 22 年度から実施しました。<br>「たまぼらひろば」が定着するよう、広報や参加者を増やす取り組みを検討します。 | 平成 22 年度から立ち上げたボラテイア相談会「たまぼらひろば」を定期的に開催することができました。また、「たまぼらひろば」が定着するようチラの配布やホ-ムペ・ジ・での周知を行いました。     | 参加者が少ない時や開催中にも関わらず窓口へ相談に来所されるといったケ-スもあり、「たまぼらひろば」についての周知が十分に行えていなかったという現状があります。  |
| 3   |       | <b>米</b>              |                                                                       | 野に入れて、関係機関·<br>団体との協議を行う。 | 多摩区ボランティアセンタ-運営委員がボランティアの相談を受け付ける「たまぼらひろば」の出張型の実施について検討します。                                            | 多摩区民祭や「パサージュ・たま」で出張型の相談受付窓口を設け、ボランティア相談を受け付けました。<br>また、上記会場や「ランチタイムコンサート」で「たまぼらひろば」の案内チラッを配布しました。 | 多くの人が集まる場所で出張型の<br>相談受付窓口を設けた際に、相談者が<br>話しやすい環境を整えることができ<br>ていませんでした。            |

### しらせる・すすめる 《区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興》

| 担当                | S  | 実施事業                  | 事業内容                                                                                                                     | 第2期計画<br>の方向性                                                                                                       | 具体的な<br>事業の展開                                                                                            | 第2期計画 に対する評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 第2期計画<br>での課題等                                                                                                                                     |
|-------------------|----|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   |    | ホランティア                | ボランティア情報誌「た<br>まぼら」を発行し、ボラ<br>ンティア情報の発信や啓<br>発を行う。(年 6 回、<br>2,500 部発行)                                                  | 現状の発行回数を維持しながら、新規の の設置 配布場所を検討 して、発行部数の増を図る。 新規の設置・配布場所の開拓がら、 エカギ                                                   |                                                                                                          | 多摩区ボラティアセンターの講座受講者やボランティア相談に来所された方に対して「たまぼら」の周知を行い、新規配布先へと繋げることができました。また、 従来の郵送による配布だけではなく、平成 24 年度より配布ボランティアによる配布を始めました。                                                                                                                                                                                                                                                                        | ボランティアセンタ-と繋がりがある方や<br>福祉施設、関係機関へは「たまぼら」の<br>周知を行うことができましたが、小売<br>店や病院、新設された福祉施設などへ<br>の新規設置場所の開拓を行うことがで<br>きませんでした。                               |
| 科英                | ത  | 情報 発<br>発行 発行         |                                                                                                                          | MのMAがら、これな<br>で情報が届きにくか<br>った方々への情報提<br>供の仕方を工夫する。                                                                  | 多摩区社会福祉協議会ホームページにボランティア情報誌「たまぼら」を掲載し、情報の発信や啓発を行います。<br>多摩を行います。<br>報紙「多摩」(事業No.16)との合併号やタウン誌の活用などを検討します。 | 毎号、多摩区社会福祉協議会ホ-ムペ-ジーにボランティア情報誌「たまぼら」を掲載し、情報の発信に努めました。<br>平成22年度より広報紙「多摩」との合併号を発行することができました。<br>記事構成についても、ボランティア募集欄の記事構成を部分的に変更しました。                                                                                                                                                                                                                                                              | 多摩と社会福祉協議会ホ-ムページにボランティア情報誌「たまぼら」を掲載していることについて、十分な周知を行うことができていませんでした。<br>タウン誌やその他の広報物を活用することについての具体的な検討を行うことができなかったため、引き続き検討していていく必要があります。          |
| <del>വ</del> ച്ച് | 10 | 輔<br>華<br>業<br>開<br>番 | ボランティ7 入門講座、<br>精神保健福祉講座、お<br>話し相手入門講座、ふ<br>るさとガイド・ボランティ7<br>講座等を開催する。<br>川崎市社会福祉協議<br>会主催の学生向けボランティ7講座「チャレボラ」<br>に協力する。 | 福祉啓発、人材の首成、組織化及び活動文と連携しながら計動文と連携しながら計画付りな講座開催に取り組む。企画から広報・実施までのプロセスをより戦略的に行う。講座企画時から修了後の活動先も視野に入れて、受講者の役割について明確化する。 | 地域や社会のニ-ズに対応した、ボランティア講座を企画します。                                                                           | 講座の実施にあたっては、講義形式だけではなく、体験プログラムや活動者からの話を聞けるようなプログラムを実施しました。<br>平成 22 年度から平成 24 年度に実施した「お話し相手(傾聴)ボラティアがルプリスを<br>の受講者を中心に、傾聴ボランティアがルプリーの受講者を中心に、傾聴ボランティアがルプループ<br>「みみちゃんの会」が発足しました。<br>また、平成 24 年度のボランティアがルプリープ<br>また、平成 24 年度のボランティアが明講座では、ボランティア情報誌「たまぼら」の配布ボランティアに繋げるという目的でケイキンデオをという目的でオーキンが、講座を開催し、14 名の方が配布ボランティア講座については、実施の意義及び方法についてボランティア地の意義及び方法についてボランティア連回さ奏会で検討した結果、当面の実施を中止することとしました。 | ボランティア活動をしたい人からのニース、を講座の企画に反映させることができた一方で、ボランティアを受け入れる施設や団体のニーズをボランティア講座の企画・実施に反映することができませんでした。 ボランティアを受け入れる側のニーズをどのように把握し、企画・実施に反映させていくかが課題になります。 |

Ⅲ 第2期計画の総括と第3期計画の Ⅲ 第3期計画の考え方と方向性

地域福祉活動計画の策定にあたって

《区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興》

· + + 10 5

しらせる・

| 甲៕      | No. | 実施事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 事業内容                                                                                       | 第2期計画<br>の方向性                                                                                              | 具体的な<br>事業の展開                                                                                                                  | 第2期計画 に対する評価                                                                                                                                                                                                                                                                  | 第2期計画<br>での課題等                                                                                                                                                                                                     |  |
|---------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 担対      | 10  | 講<br>事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (前頁同様)                                                                                     | (前頁同樣)                                                                                                     | 講座受講後の具体的な活動につながるよう、多摩区内の関係機関・施設との連携を強化して、ニ-ズの掘り起こしを行います。                                                                      | 講座受講後に具体的な活動へと繋がるよう、関係機関・施設と連携し、ボラナイア体験の場を設けました。                                                                                                                                                                                                                              | 多摩区ボラティアセンターとの関わりが希薄な関系機関 施設との連携を深めていくことができなかったため、今後、更なる働き掛けが必要になります。また、過去の講座や相談などから掘り起こしたニーズの整理を行いましたが、全てのニーズ、を直接的に企画・運営に繋げることまで至りませんでした。                                                                         |  |
| <b></b> |     | ※ ボン<br>・ボン<br>・ボン<br>・ボッシャイ<br>が<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャイ<br>・ボッシャ<br>・ボッシャ<br>・ボャッシャ<br>・ボャッシャ<br>・ボャッシャ<br>・ボャャ<br>・ボャ<br>・ボャャ<br>・ボャ<br>・ボャ<br>・ボャ<br>・ボャ<br>・ボャ<br>・ボャ | 災害発生後、他都市からの災害救援ボランティアを受け入れるための体制作りや、そのマニュアルを作成して、その周知等を行う。<br>災害救援ボランティアセミナーを開催し、啓発活動を行う。 | 災害救援ボランティア<br>の受け入れのマニュアル<br>を完成させ、多摩区民<br>への周知を図る。<br>災害救援ボランティアセンタ-を周知する中で、<br>具体的対応やネットワー<br>づくりの推進を図る。 | 「災害救援ボランティアセンターマニュアル」を完成させます。<br>「災害救援ボランティアセンターマニュアル」を周知し、啓発活動を行います。<br>他都市から集まる災害救援ボランティアに対して地域の案内や地元ニ・ズの集約などを担う人材の養成を検討します。 | 平成 24 年度に「災害ボランティアセンター<br>設置時の対応と課題」冊子が完成し、冊<br>子を参考にしたシミュレーション訓練を運営<br>委員会で実施しました。<br>多摩区民祭や多摩区防災フェアへの<br>参加、地域の方を対象とした講演会を<br>実施し、災害ボランティアセンターの周知を<br>行いました。<br>「災害ボランティアセンターの周知を<br>行いました。<br>「災害ボランティアセンターの周知を<br>担助子を作成する過程で、地域の案内や<br>地元ニーズの集約などを担う人材の養成に<br>ついて検討しました。 | 平成 23 年度から継続的に運営委員会でのシミュレーション訓練を実施していますが、十分な内容の見直しができていません。<br>窓上ん。<br>災害に対しての意識が高い人たちや災害が起きた時に中核として動くことが視定される立場の人たちに対して、引き続き周知を行う必要があります。<br>地域の案内や地元ニーズの集約などを担う人材の養成についての検討は行いましたが、具体的な取り組みや行動まで取り組むことができませんでした。 |  |
| 岩域      | 12  | ボランティア<br>グル-フ。運<br>営活動費<br>助成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 当事者団体・ボランティアグル・プを対象に、寄付金を財源とした運営活動費の支援を行う。                                                 | 寄付金の受入れや予算の状況に応じて、財源的支援の継続性を優先した配分を行う。<br>先した配分を行う。                                                        | ボランティ7グル-プの運営活<br>動費を維持するための予算<br>を確保します。<br>また、新たな寄付金を募集<br>する方法の検討を行います。                                                     | 区内当事者・ボランティア団体が実施する行事への行事助成金および本会第6種・第7種会員を対象とした活動助成金を実施しました。 布事助成金については、事業No3に記載のとおり助成財源を変更しました。また、活動助成金については、財源が減少している状況を踏まえ、助成額の減額を行うことで継続した事業運営を図りました。新たな寄付金の募集については、事業No3に記載のとおり取り組みました。                                                                                 | 助成の財源が地域からの寄付金に<br>依存するため、安定した事業の実施に<br>向けた財源の確保が必要となります。                                                                                                                                                          |  |

### しらせる・すすめる 《区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興》

| أا         |     |                   |                                                                                                          |                                                                       |                                                                                   |                                                                                                                           |                                                                                                                       | -  |
|------------|-----|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 担当         | No. | 実施事業              | 事業內容                                                                                                     | 第2期計画<br>の方向性                                                         | 具体的な<br>事業の展開                                                                     | 第2期計画 に対する評価                                                                                                              | 第2期計画<br>での課題等                                                                                                        |    |
| 岩域         | 33  | 参<br>事者<br>ンティア   |                                                                                                          |                                                                       | 多摩区内の当事者・ボランティ<br>ア活動のニーズの把握と、ボランティア情報の提供を行い、たまわかくさ運営委員会の活動を支<br>援します。            | 事務局として一部の事務などを担いながら、運営委員の主体的な活動が進められるよう支援しました。                                                                            | 運営委員への負担が重くかからないように継続した支援が必要となります。<br>ます。                                                                             |    |
|            | •   | さ」への<br>協力支援      | を行う。                                                                                                     | め、新たな会員の募集に<br>努める。                                                   | 新たな会員の応募につなが<br>るよう、広報活動に協力します。                                                   | たまわかくさの広報活動への協力<br>に努めました。                                                                                                | 新たな会員の応募に繋がるような効果<br>的な支援には繋がっていません。                                                                                  |    |
| (2         | )福  | (2) 福祉教育の推進       | t<br>重                                                                                                   |                                                                       |                                                                                   |                                                                                                                           |                                                                                                                       |    |
| <b>社</b> 保 | 4   | 福祉<br>相談<br>大     | 学校における福祉教育のプログラムに関しての相談や、福祉情報の提供を行う。<br>福祉体験学習のための高齢者、視覚障害者の                                             | 講師の派遣依頼に関して、効果的なコーディト役を目指す。<br>福祉教育を目的とした、福祉用具貸出しの意図を明確にする。           | 学校からの福祉教育に関する相談内容や、地域で講師として関わっている活動者の状況を調査し、学校のニ-ズニ合わせた提案ができるよう、プログラムの充実を図ります。    | 区内小・中・高等学校の福祉教育に<br>に関する年間指導計画の収集や学校<br>関係及び福祉団体へのアンケー・調査を<br>基に作成した福祉教育ハバブック第3<br>版を活用しながら、学校などからの相<br>談に対応しました。         | 福祉教育ハン・ブッカが学校内で紛失してしまっているケースや活用方法について認知されていないケースが確認されており、教員などへの福祉教育ハン・ブックの認知度が低い状況にあります。                              | n. |
|            |     | <del>-</del><br>₩ | 疑似体験用具や車いすなどの貸出しを行う。<br>福祉教育の講師の紹介や派遣の調整を行う。                                                             |                                                                       | 貸出用福祉用具の目的や取扱方法について整備を行い、実施要領を作成します。                                              | 平成 23 年度に「貸出し用福祉用具取扱い要領」を制定し、用具の使用目的及びルルについて整理しました。                                                                       | 現状を維持します。                                                                                                             | 1  |
| 科技         | 5   | 福社 推教 章<br>会 张教 章 | 福祉教育推進委員会(関係機関・団体により構成)のワーキングループを中心に、福祉教育セミナ-の開催、福祉教育サポーターの養成及び福祉教育・オーの開催、福祉教育サポーターの養成及び福祉教育ハバブックの改訂を行う。 | 福祉教育推進委員会の各ワキングブループの委員を中心に、地域活動者への啓発や地域で取り組む「福祉教育」の理解者を増やすための働き掛けを行う。 | 地域で支える福祉教育の理解者·支援者を募る啓発事業として、区域全体を対象とした「福祉教育を注-」と併せ、地区を単位とした小地域型の「福祉教育を注-」を開催します。 | 「地域教育」を目的に、地域住民の身近な福祉テーマが題材となるよう、地域の福祉施設や当事者などに協力を依頼しても注・を実施しました。<br>平成 22 年度から実施している障害者施設でのセミナーでは、施設の実状を見ることができて良い経験になった | セミナーを受講して感じたことや考えたことなどを行動に移してもらうために、受講者にセミナー受講後の次のステップを明確に提示する必要がありましたが、しっかりとした提示ができておらず、次のステップへと繋ぐことができていないことがありました。 | 1  |
|            |     |                   |                                                                                                          |                                                                       |                                                                                   | セミナ-受講者からは、施設でのボランティアに繋がる、団体の活動に参加する、ボランティアセンタ-の実施事業へ参加するなどのケ-スも見られました。                                                   |                                                                                                                       |    |

地域福祉活動計画の策定にあたって

浬

期計画 育2期計画 の方向性

無

事業内容

実施事業

<u>≥</u>

粗当

(前頁同様)

(前頁同様)

失に認足

% 法 確 不

福祉教育ハン・ブッケが学校内で紛してしまっているケースや活用方法ついて認知されていないケースが確されており、学校関係者への周知不が認められます。

な得方り

うが信あ

よ報発が

る情の要

れにへ必

た対方く

持がるい

をどあて

広報紙発行に関す 少なく、どの程度の周 か不明な現状です。 多くの方に関心を 紙面作りの工夫など。 られにくい立場にあ 法について検討して ます。

の活用

作協 で お 力 報

広報紙「多摩」の全戸配布や 回覧など、町会・自治会の協力 を最大限活かしながら、広幹 活動を積極的に進めます。 チデンの挟み込みなどの活用 方法を検討します。

面情でな

より魅力ある Eりを心掛け、粘 設に関心のない 興味を引くよ

作報も発

発福がの情

多摩区内の福祉啓 そのため、多摩区社会 4 国社協議会・各種団体 華 バ実施する事業活動 1 7紹介や身近な福祉 3 青報の発信を行う。 広報紙「多摩」を町 会・自治会の協力によ り、多摩区内の回覧 年に 3回・6,700)と、

笹の

報 摩

应 後 祭

16

型域

会·自治会の協 り、多摩区内 (年に 3 回·6, 全戸配布(年に 68,000 部)を行

なる

せが

₫₩

凯效

する間 |周知3

2 期計画 の課題等

第で

第2期計画 に対する評価

具体的な 事業の展開

第2期計画 の方向性

実施事業

흗 阻当 啓発の

14

かっ い う 決

はな

集ど

3紙で掲載記事募集 - が、掲載依頼は殆と

報す

₩ ₩ ₩

50

毎号の広報紙の紙面において掲載
 記事の募集を続けました。
 はまた、本会の各種会員の紹介記事を
 掲載し、区社協会員のPRを図っています。

最新の情報の提供が行える よう、多摩区社会福祉協議会 記 だけでなく、地区社会福祉協 : 議会や会員を中心に掲載記事 権 を募ります。 記事の申込様式の検討を

多摩区社会福祉協議会のホームページの更掛け、事業実施担当職に対が行う。同ホームページは、平成目末・上の東京の・一部では、中成日の・一部では、日本成立の年度月平はカアクセス数は約600倍、、日平均計間者は目は、日本が計画者は目をなっている。

₩ S

. . . . . . . . .

ては

7 6

行ま

# 11

適時、ホームページの更新は すが、タイムリーな情報発信に ていません。

の員整 |などの | 全職 | に割が

ホ-ムページへの事業開催情報な 更新は各事業担当職員が行い、全 が情報の更新作業ができる体制 っています。

イン

体取

報発信媒体 \*の更新にI

<u>| タイムリ- な情報</u> , て、ホ-ムペ-シ<sup>\*</sup>( ||みます。

5社会福 E協議会 - ムヘ。-、の運営

17

当赵

区社卡

し絶

し運ま

他区の社会福祉協議会と手 情報・認識について、ホ-ムペーシ ニ+分に活かすことができて

情しる

他区の社会福祉協議会との情報交換において、ホ-ムペ・ジの内容やタイムリー 情な情報更新が重要かつ先決であるこにとを確認するとともに、ホ-ムペ・ジの構んで内容について協働で検討する事ができました。

換なと成が

とボー

他区社会福祉協議会とオムページの構成や内容について協働で検討を行います。

学校が実施する「福祉教育」と地域が実践する「福祉 | 教育」の相互理解が深まるよう、引き続き「福祉教育ハゲブラック」の改訂を行います。

の学校関 、福祉教 行いまし がんが §会議や PTA なと まる会議において §会Jの事業 PR を 第2期計画 に対する評価 地域教育会 者が集まる 推進委員会 条首た。 学校が実施する「福祉教育」を身近に支える人材(福祉 教育)を身近に支える人材(福祉 教育サポーケー)として、学校に 間一番身近な保護者を対象と とした講座を開催します。 サポーケー養成の今後のあり ラカについて、平成 23 年度に実施した福祉教育アンケーを 格基に、その必要性の有無を踏 なまて検討を行います。 b域教育会議や bt 4 等学 関係者と協働し、福祉教育 住事業により多くの方の Inが得られるよう、継続的 動き掛けを行います。

方実基ま

育員

教委

社進

福推会

15

對類

して、これ :ちの保護 ったため、 での関係

多摩区社会福祉協議会とまで PTA を含めた子どもたませい まで PTA を含めた子どもたい 者世代との関わりが希薄だ事業の総続性を踏まえた上性の構築が必要となります。

, , ,

7

#

「福祉教育」という言葉自体が社会的に浸透していない現状があり、継続した広報活動などが必要となります。

地関進加働力

校推参な

育教一し

地や福を掛

福祉教育推進委員会の各ワーキンググルーフの委員を中心に、地域活動者への啓発や出域で取り組む「福祉教育」の理解者を増やすための働き指げを行う。

福祉教育推進委員会(関係機関・団体に より構成)のワキンググ ループを中心に、福祉教 財育セミナ・の開催、福祉 教育セミナ・の開催、福祉 財教育サポーターの養成及 もび福祉教育ハバ・ブック けの改訂を行う。

26

第で

定に向けた取り で組み状況で話と第3期 計 画 の

 $\blacksquare$ 

第

計画

の

方

方 向性

54

II策定に向けた取り組み状況第2期計画の総括と第3期計

地域福祉活動計

画

 $\mathcal{O}$ 

策定に

あ

たって

型域

| ا          | .  |                         |                                                                                                                 |                                                                                                                                      |                                                                                                                                 | -                                                                                    |                                                                                                          |
|------------|----|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 型៕         | Ŋ. | 実施事業                    | 事業内容                                                                                                            | 第 2 期計画<br>の方向性                                                                                                                      | 具体的な<br>事業の展開                                                                                                                   | 第2期計画 に対する評価                                                                         | 第2期計画<br>での課題等                                                                                           |
|            |    |                         | 多摩区社会福祉大会を開催し、多摩区内会を開催し、多摩区内の地域福祉活動に貢献された方や寄付者の方を対象に感謝状を贈呈する。併せて福                                               | 福祉啓発の場として、継続して「多摩区社会福祉大会」を開催する。                                                                                                      | 福祉活動の大規模な広報<br>啓発事業の一つとして、多摩<br>区社会福祉大会の集客につ<br>ながる魅力的なプログラムとな<br>るよう検討します。                                                     | 毎回のプログラムを実行委員会にて検討し、第5回/多摩区社会福祉大会」では600名の参加があり、好評を得る事が出来ました。                         | 幅広い年代層に興味・関心を持っていただける内容を検討する必要があります。                                                                     |
| <b>考</b> 類 | 0  | 多会 会<br>福<br>区 社<br>丘 大 | 社の啓発も行う。<br>多摩区社会福祉大会実行委員会で、講演会やパネル展示等<br>のプロゲラムについて検討を行う。                                                      |                                                                                                                                      | 多摩区らしい社会福祉大会として、大会開催の広報活動やプログラムの企画、当日の運営方法等について検討します。                                                                           | 視覚的な広報として、毎年、内容の見直しを行いながら区内福祉団体の活動紹介スラボショ-の上映を行いました。また、企画・運営に関して、関係団体からの協力を得て実施しました。 | 福祉活動の紹介をスライ・ショーのみにするのではなく、他の広報手段も含めた検討を行う必要があります。また、現在の実施時間帯について参加しづらいとの声がありましたので、当日の運営について一部見直す必要があります。 |
| 岩域         | 50 | リ-フレット<br>の作成           | 地域福祉を推進するため、多摩区社会福祉的なる。<br>全球の第一次のような女援や事業を実施<br>しているのか、また、<br>どのような協力を必<br>要としているのかな<br>でを記載したリーフレット<br>を作成する。 | 親しみやすい媒体<br>在活動への興味や女<br>被者を禁ることで、<br>社会福社協議会を知っ<br>っていただくきっか<br>けとなるような関の<br>無みを行う。<br>また、免責・<br>関の募集や略介を<br>の協力につながるよ<br>の協力につながるよ | 事業No.1[会員、会費の児直し、事業No.2[賛助会員の募集]、事業No.2[賛助会員の募成]、事業No.25[人材の発掘できる内容のリーアルがを作成し、事業No.6[地域福祉活動計画の推進」の概要版リーアットと共に、効果的な配布方法の検討も行います。 | 多摩区社会福祉協議会や福祉バルたまの紹介資料として、様々な機会に活用できるリフレットの作成を行いました。                                 | リーフレッかの内容をより見やすく、分かりやすくしていくために、継続した見直しが必要となります。                                                          |

Ⅲ 第2期計画の総括と第3期計画の

 ${\rm I\hspace{-.1em}I}$ 

第3期計画の考え方と方向性

58

### · + + 10 5 らせる. 《区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興》

|                |                                                                                                                                                                                                                                       |          | ı                        | T                                                                                                               | T                                                                    |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 第2期計画<br>での課題等 | 現状を維持します。                                                                                                                                                                                                                             |          |                          | 学校外での広報活動が不足しており、地域でのサロンの認知度があまり高くない現状があります。新しく転居してきた子育て世帯などへのサロンの周知方法についての検討が必要となります。                          | 継続的に定期開催を実施していく<br>必要があります。                                          |
| 第2期計画 に対する評価   | 事務所内の蔵書の整理を行い、区内<br>の福祉関係団体が発行した資料や定<br>期刊行の福祉情報紙などを閲覧でき<br>るようにしました。<br>福祉関係資料についての問い合わ<br>せに関しては、福祉情報バンクや図書館<br>の利用を促しました。                                                                                                          |          |                          | 稲田小学校内でのサい活動についての周知を行い、授業の一環としてサロン見学が実施されることで、小学生との積極的な交流ができました。                                                | 毎月1回(第4水曜日)の定期的な開催を行うことで継続して参加される方も増え、参加者相互の情報交換の場となっています。           |
| 具体的な<br>事業の展開  | 福祉関係資料の貸し出し<br>については、川崎市社会福祉<br>協議会の福祉情報バンク事業<br>や図書館などで行っている<br>ため、他機関の情報提供と<br>し、定期刊行の福祉情報紙の<br>閲覧や貸し出しについて<br>討します。                                                                                                                |          |                          | 近隣住民や教員・PTA等の学校関係者に、異世代の参加を呼び掛けていきます。                                                                           | 参加者のニ-ズに応えられるよう、定期的な開催を検討します。                                        |
| 第2期計画<br>の方向性  | 一般区民への貸出し<br>の実績がほとんどなく、<br>問い合わせも多くは寄<br>せられていない。このた<br>め、一般図書に関しては<br>市立多摩図書館を利用<br>していただき、ビデオプ<br>ブツーに関しては川崎市<br>社会福祉協議会情報が、<br>ング等の既存の施設等を<br>活用していただく。多<br>摩区社会福祉協議会で<br>は、多摩区内の福祉関係<br>団体が発行した資料等<br>の管理を中心に行い、そ<br>の管理を中心に行い、そ |          |                          | 地域資源としてのサ<br>いの活用を検討する。<br>保育ボランティア「ぼけ<br>っと」のより質の高い<br>子育て支援の知識や<br>技術を生かせるよう                                  | 49000 7410。<br>子育てサロン参加者<br>のニ-ズである「出会い<br>の場」として継続実施<br>し、これに応えていく。 |
| 事業内容           | 事務所スペースや予算<br>的な理由により、福祉<br>との理性が難しいため、<br>多摩区社会福祉協議<br>会が実施している事<br>業を中心に福祉関係<br>図書を購入している。<br>このため、福祉関係<br>者を中心とした貸出<br>しとなっている。                                                                                                    | )推進      | Mam's TIME(マムス゛タイム) 事業終了 | 市立稲田小学校を<br>会場として、保育ホラ<br>ンティア「ぽけっと」に<br>よる、子育てサロンを<br>開催する。(月1回、午<br>前開催)                                      |                                                                      |
| 実施事業           | 部<br>海<br>子<br>り<br>り<br>後<br>後<br>後<br>の                                                                                                                                                                                             | 子育て支援の推進 |                          | か<br>か<br>か<br>り<br>し<br>い<br>し<br>い<br>し<br>し<br>し<br>い<br>し<br>い<br>し<br>い<br>し<br>い<br>し<br>い<br>し<br>い<br>し | 6 -1 (A.)                                                            |
| S.             | 21                                                                                                                                                                                                                                    |          | 22                       | 23                                                                                                              |                                                                      |
| 型当             | 岩英                                                                                                                                                                                                                                    | (4)      | 岩漠                       | 科技                                                                                                              |                                                                      |
|                |                                                                                                                                                                                                                                       |          |                          |                                                                                                                 |                                                                      |

### しらせる・すすめる 《区民の福祉理解の推進と福祉活動の振興》

[2]

| 型៕         | <u>₩</u> | 実施事業                                                                    | 事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 第2期計画の方向性                                                                                                    | 具体的な事業の展開                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 第2期計画に対する評価                                                                                                                                                            | 第2期計画での課題等                                                                                               |
|------------|----------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| E          |          | 住民参加によ                                                                  | よる福祉活動の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                        |                                                                                                          |
| 五<br>五<br> | 25 人 協 統 | 人<br>本<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 地域福祉活動者と<br>しての人材の発掘、<br>選する。<br>具体的には、次の事業を中心に行う。<br>(1)ボジナイアセンター事業<br>として、各種講座の<br>開催、ボジテイアセク事業<br>における取り組み<br>として、福祉教育推進事業<br>として、福祉教育<br>は教育推進事業<br>として、福祉教育<br>が少ティアの募<br>の福祉教育推進事業<br>として、福祉教育<br>における取り組み<br>がっか、可保をが留<br>の地及首によって、<br>のを発活動<br>として、福祉教育<br>として、福祉教育<br>における取り組み<br>として、福祉教育<br>として、福祉教育<br>における取り組み<br>として、福祉教育<br>として、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、福祉教育<br>たっして、日本教育<br>の一郎教育を持て、日本教育<br>の一郎教育を持て、日本教育<br>の一郎教育を持て、日本教育<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎教育を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一郎を一定なる<br>の一なり<br>の一なり<br>の一なり<br>の一なり<br>の一なり<br>の一なり<br>の一なり<br>の一なり | ボンティアセンター連<br>進奏員会や福祉教育推<br>を共有し、地区社会<br>学協議会と協議会と<br>大村の発掘を行う。<br>楽しみのある活動<br>によって人村を発掘<br>によって人村を発掘<br>げる。 | 事業ル.77多摩区ホランティアセンター、事業ル.10「講座開催事業」において、新たな人材の発掘を行います。<br>事業ル.15「福祉教育推進委員会」において、地域活動者の新たな役割の啓発を行います。<br>事業ル.26「小地域福祉活動者が推進」事業ル.26「小地域福祉活動の推進」事業ル.27「地区社会で会別の推進、事業ル.27「地区社会福祉協議会の組織強化支援」において、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいて、地域活動者を中心によいます。 | ボランティアセンターや福祉教育推進委員会などの実施する事業への参加者に、ボランティア情報誌「たまぼら」の新規送付確認を行い、ボランティア活動へと繋げられるように努めました。<br>また、講座やセミナーを実施する際には、適宜、参加者へのアンケー・調査を行い、ニ・ズのあるデーマや身近なデーマを確認しながら講座などを企画・実施しました。 | ボランティア活動者などが継続的に活動していくことのできる環境作り及び支援体制が整っておらず、効果的な人材育成へと繋げることができませんでした。                                  |
| <b>社</b>   | 26 社     | 小地域福祉活動の<br>推進                                                          | 地区社会福祉協議会を中心に福祉活動を支援している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | NPO 法人、ボランティアケ<br>ル-ブ・等も含めた、幅広<br>い活動の支援を行う。                                                                 | 担当地域の活動団体やその活動内容等の把握に努め、地域のニ-ズにあった活動の支援を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 各地域で開催した住民懇談会や各種会議で、それぞれの地域の情報を収集する事ができました。また、地区社会福祉協議会の実施している事業を中心に、地域内の福祉活動について支援を行いました。                                                                             | 収集した情報を活かし、地域の実態<br>に合わせた支援について検討してい<br>く必要があります。<br>また、各地域が持っている地域資源<br>の強みを活かした形での福祉活動の<br>推進が必要になります。 |

# 《区民の生活をささえるネットワーケの形成》

| <ul> <li>事業が展開</li> <li>事業が展開</li> <li>事業の展開</li> <li>事業の展開</li> <li>事業の展開</li> <li>事業の展開</li> <li>市での課題等</li> <li>を地区社会福祉協議会の会議においての状況確認をした検討が必要となります。</li> <li>かよう。 事を合成して登り会業などの共通して取り組 もるく 課題及び情報の共有化と整硫</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業の展開<br>春地区社会福祉協議会の状<br>記が違うため、一律のマニュアル<br>の作成は行いません。<br>各地区社会福祉協議会に<br>調査を行い、区単位で解決す<br>ることが望ましい課題について整理し、その方策を検討<br>します。<br>地区社会福祉協議会による<br>地区社会福祉協議会による<br>地区社会福祉協議会による<br>地区社会福祉協議会による<br>地区社会福祉協議会による<br>を役員を対象とした連絡会<br>時報交換・連携に取り組める<br>よう支援します。<br>現在、小地域活動を実施して、る団体から、地域のニーズ<br>を把握し、多摩区社会福祉協議会会長<br>まり支援します。<br>現在、小地域活動を実施している団体から、地域のニーズ<br>を把握し、多摩区社会福祉協<br>議会独自の支援活動の検討<br>を行います。<br>保健福祉センターや地域包括<br>支援センターなどの関係機関と<br>定期的な情報交換を行い、地<br>域ニーズの共有化を図ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 海大学 できる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 国<br>協を織続い参<br>協と微に、<br>強性で、<br>議実にがよ参<br>強のに<br>会体でしているなすする自<br>会施っついうな。<br>会性では<br>はなななない。<br>のに<br>のに<br>のに<br>のでいる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のでになる<br>のではなる<br>のでになる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなる<br>のではなななな<br>のではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな |
| 第2期計画の方向体<br>地区社会福祉協議会<br>している部会組織について、事業の継続がない<br>ないて、事業の継続がない<br>なり化にならないよう、<br>新たな活動者の参加を<br>に動しおける車任の活動者の参加を<br>地域担当職員間において、<br>地域担当職員間において、<br>市域担当職員間において、<br>はないて、<br>市域担当職員間において、<br>が、「有報が共有できる体制を整え、地区社会<br>の役割の再確認を行る。<br>かなりを強力をして<br>の役割の再確認を行う。<br>の役割の再確認を行う。<br>の後割の再確認を行う。<br>のな割のは、多様な財<br>政的支援も検討する。<br>広いいアを対象として<br>が、送い活動として、<br>る本がさない、活動をからない、活動とのな、多様な財<br>政の大きなない。<br>成いてリアを対象とした<br>が、送い活動でして、<br>が、送い活動のこっ、「は対する。<br>なるを動が困難ない、、、<br>が、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事業内容<br>多摩区内には地域の福<br>社課題の解決に向け、地域<br>住民が福祉の担い手とな<br>り、住民同士がお互いに<br>「支え合うこと」を目的と<br>した5つの「地区社会配<br>地蔵義会(①登戸地区、②首<br>地区、③中野島地区、(和<br>を表)・児童委員、保護司、<br>社会福祉に関する団体等<br>によって構成された任意<br>団体で、様々な福止活動が<br>行われている。<br>このため、活動にかか<br>わる財政的支援と、地域<br>相当職員による組織活動が<br>かる財政的支援と、地域<br>相と社会福祉協議会の<br>が関を対象とした研修会<br>を開催する。<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>地区社会福祉協議会の<br>新会が集施する「高齢<br>着ふれあい活動支援<br>事業」の対象団体への<br>活動費の助成及び情<br>報提供を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 実 地福会強 高れ動文食デスとなると となると さんかん 節みの援い た社協組文 な議織接 会議職長 な活進会 は、「選出し、文リ協地田。生社に即行、わ担の「役都」の 議者事活報                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

地域福祉活動計画の策定にあたって

|                       |               | なな<br>が<br>があり                                                                                             | な団体でせんで                                                                                                    | の周知                             | の量が<br>けるこ<br>況にあ                                                               | 明内容した利用                                                    | , 管理運<br>現状に<br>ごえ提供<br>: す。                                                             | まなに<br> な対応                                    |
|-----------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|                       | 第2期計画での課題等    | 地域福祉活動拠点としての空き家などの利用については財源的な課題もあり、更に検討していく必要があります。                                                        | 関係団体以外の関係性が希薄な団体などへの積極的な周知ができませんでした。<br>カル・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・                         | ないことがあり、継続したル-ルの周知<br>が必要となります。 | チラシやバンフレット、情報誌などの量が多く、必要な情報をすぐに見つけることの出来る環境作りが難しい状況にあります。                       | 区内館の老人いこいの家での利用内容<br>に差が生じないよう、一定に統一した利用<br>ルルの確認が必要となります。 | 引き続き安全で安心のできる管理運営に向け、管理人と調整担当が現状に甘んじることなく、より良いサ-ビ7提供に向けて努力する必要があります。                     | 修理などに必要な経費の大きさにより対応元が異なるため、迅速な対応が取りづらい状況にあります。 |
|                       | 第2期計画 に対する評価  | 福祉バルたまや老人いこいの家を地域福祉活動拠点として確保するとともに、その他の活動拠点の情報提供を行いました。また、次期の「いこいの家」指定管理について理事会などで検討し、継続した指定管理に向けた申請を行います。 | 福祉パルたまの利用件数の増加に繋がるよう、広報紙「多摩」やホ-ムページで利用方法などの周知を行いました。利用方法などの周知を行いました。利用団体に対して、研修室及びポラン                      | ティアコーナ-の利用方法を継続的に周知<br>しました。    | パンフレットスタメドを設置し、チラシやパンフ<br>レッド、情報誌を見やすく、探しやすくなるように工夫をしました。                       | 運営委員会による利用ル-ルの確認<br>により、健全な運営を継続することが<br>できました。            | 管理人と調整担当の連携により、安全で安心のできる管理運営をすることができました。                                                 | 川崎市及び川崎市社会福祉協議会<br>と連携しながら、適宜、対応しました。          |
| げる・つながる               | 具体的な<br>事業の展開 | 多摩区社会福祉協議会が地域福祉活動拠点として、施設の開放や空き家・空き店舗を活用した福祉活動を行った場合の課題や活用方法などを整理します。                                      | 地域福祉活動の拠点として活<br>用いただくため、「福祉バルたま」<br>の利用案内を近隣の方を中心に<br>PR し、利用件数の増加につなが<br>るよう、取り組みます。<br>研修室及びボデンティアコナーの利 | 用方法を周知し、効率的に利用<br>ができるよう取り組みます。 | 「福祉パルたま」を利用している団体・個人が、多摩区内の地域<br>福祉活動の情報が得やすくなる<br>よう、チデンの掲示やパンフレットの設置方法を工夫します。 | 独自に運用されている各老人いこいの家の利用ルールについて整備します。                         | 各老人いこいの家管理人を対象<br>とした研修及び川崎市社会福祉協<br>議会調整担当との連携による、「老<br>人いこいの家」の安全で安心のでき<br>る管理運営に努めます。 | 「老人いこいの家」の老朽<br>化に対応するため、日用備品<br>等の修理を行います。    |
| つな                    | 第2期計画<br>の方向性 | 地域に隣接した活動拠点が確保できるよう、積極的な働き掛けを行う。                                                                           | 「福祉パルたま」を活動拠点として利用している団体の増加に伴い、特定の団体の利用に用い、特定の団体の利用に偏ることのないよう、平等な運用ルル                                      | の確認とその運用の周知の商知徹底を図る必要がなす。       | Iエルのる。<br>地域福祉活動拠点と<br>して発信する福祉情報<br>の整理とその管理方法<br>について検討する。                    |                                                            | 家]の利用を図る。                                                                                |                                                |
| 《区民の生活をささえるネットワ-クの形成》 | 事業内容          | 「福祉パルたま」及び<br>「老人いこいの家」を<br>中心とした、地域福祉<br>活動拠点の確保と整備を行う。                                                   | 市からの委託事業として、「福祉パルたま」<br>の管理運営を行う。                                                                          |                                 |                                                                                 | 「老人いこいの家」<br>の指定管理者制度へ<br>の移行に伴い 指定管                       | 理者としての管理事務作業等を行う。                                                                        |                                                |
| ≤民の生活                 | 実施事業          | 地域福祉<br>活動拠点<br>の確保                                                                                        | 福祉パル                                                                                                       | たまの管<br>理運営                     |                                                                                 |                                                            | 老人いこ<br>いの家の<br>管理運営                                                                     |                                                |
|                       | Ş             | 29                                                                                                         |                                                                                                            | 30                              |                                                                                 |                                                            | 31                                                                                       |                                                |
| $\circ$               | 型៕            | 科英                                                                                                         |                                                                                                            | 型 対                             |                                                                                 |                                                            | 岩철                                                                                       |                                                |

# 《区民の生活をささえるネットワークの形成》

| 型៕         | No.           | 実施事業               | 事業内容                                                                     | 第2期計画<br>の方向性                                                     | 具体的な<br>事業の展開                                        | 第2期計画 に対する評価                                                                                                      | 第2期計画<br>での課題等                                                              |
|------------|---------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| (2)        | $\overline{}$ | 合相談支援              | 総合相談支援機能の強化                                                              |                                                                   |                                                      |                                                                                                                   |                                                                             |
|            |               |                    | 多摩区内の福祉サービスや福祉制度への間 い合わせ、生活相談な にだって、適切な対                                 | 多摩区社会福祉協議会内で、福祉等の相談内容やその対応などの情報を共有化し                              | 電話や来所等による相談<br>に対応するため、活用できる<br>情報の整備を行います。          | 各事業の相談カードの保管場所を把握することで、必要な情報を適時使用することの出来る体制を整えました。                                                                | 事業によっては担当職員のみが把握している情報もあり、情報の更なる<br>共有化が必要となります。                            |
|            |               |                    | <b>応を行う。</b>                                                             | て、横断的な対応ができるよう、相談カードの活用方法を検討する。                                   | 多摩区社会福祉協議会で受ける相談の統計やその傾向等<br>について分析を行います。            | 各種事業ごとに相談件数の集計を行い、相談の傾向・内容などを把握し、各種事業を計画する際の参考として活用しました。                                                          | 相談についての統計や分析については、活用目的についての検討が明確に行われていないため、多摩区社会福祉協議会全体としての統計は作成していません。     |
| 福华         | 32            | 総合<br>本<br>海<br>業  |                                                                          |                                                                   | 相談内容や経過を記録する相談カトの様式や情報の共有化について検討します。                 | 相談カードの様式を見直し、全ての事業の初回相談時に共通で使用できる様式を整えました。<br>また、相談についての情報を課内で共有し、各事業ごとに保管している相談カードについては、その保管場所を全職員が把握するように努めました。 | 引き続き、制度や事業内容の変更に合わせた定期的な相談カ-ドの様式の見直しが必要となります。                               |
|            |               |                    |                                                                          |                                                                   | 現在、各事業担当者が所有している相談カードの保管方法などについて、個人情報の取り扱いを含めて検討します。 | 各事業ごとの相談カードの保管場所<br>を職員間で共有することで、円滑な相<br>談対応が行える体制を整えました。                                                         | 個人情報が記載されている資料についての明確な保管のルール・基準がないため、多摩区社会福祉協議会としてのルールの整備が必要となります。          |
| <b>萨</b> 拉 | 33            | 生活福祉<br>資金貸付<br>事業 | 神奈川県社会福祉協議会との委託契約に基づいて、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯、高齢者世帯等への生活福者世帯等のの生活福祉資金の貸付を行う。 | 川崎市社会福祉協議会に対して、全市的な研修体制を構築してもむっよう、また、他の法会や制度の情報を報を共有化できるよい。由は、一点、 | 事業No.32「総合相談支援事業」とともに、初回相談については全職員が対応できるよう検討します。     | 地域課内で勉強会を行うことで、全職員が初回相談に対応できる体制を整えました。                                                                            | 資金の種別ごとに貸付要件などが<br>異なっているため、初回相談において<br>使用できる共通の相談ツ-ルを整える<br>ことが難しい状況にあります。 |

地域福祉活動計画の策定にあたって

|                       |              | Τ                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                      |                                                                                         |
|-----------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
|                       | 第2期計画での課題等   | 理事会に参加していない民生委員・<br>児童委員や担当地域に生活福祉資金<br>の借受世帯がいない民生委員・児童委<br>員は、事業について知る機会が少ない<br>ため、制度についての理解度に差が生<br>じています。<br>また、借受世帯の転居などにより、<br>適正な地域で適正な支援が受けられ | や海田圏                                                                                                                                                                                                 | 利用者の文法を通して関係機関との連携を図れているものの、グル・プホム入居者などの利用については一部認識の差が生じているため、更に共有化を図っていく必要があります。       |
|                       | 第2期計画 に対する評価 | 民生委員・児童委員へ制度について説明する機会を設け、周知に努めました。                                                                                                                   | 用者数が常時 90 名<br>影の件数についても<br>想される状況において<br>続可能な運営確保の<br>電中職員の適正な業別<br>援助困難ケ-スへの対<br>総能力判定審査会・ケ<br>にて川崎市社会福<br>関して川崎市社会福<br>関議会としての意見                                                                  | 区佼所(福祉事務所、高虧有交接、障害者支援担当など)、地域包括支援センター、障害者相談支援センターなどと利用者の支援を通じて連携を図り、身近な相談窓口として運営してきました。 |
| げる・つながる               | 具体的な事業の展開    | 民生委員・児童委員に、生活福祉資金貸付制度について説明する機会を設けます。                                                                                                                 | 利用者数の増加に対して当次を置や職員の適正な業量の観点から、円滑かつ総可能な運営確保に向けたり組みを進めます。                                                                                                                                              | 区氏に対して用かれがお<br>口であるために、地域課・事業課・区役所などの関係機関と連携します。                                        |
| 40                    | 計画           | (前頁同樣)                                                                                                                                                | 今後も、利用ニーズの増が子想されるので、サービスの質を維持できる体制について検討する。<br>多摩区民に開かれた相談窓口となるよう、地域課・事業課とも連携して対応する。                                                                                                                 |                                                                                         |
| 《区民の牛活をささえるネットワークの形成》 | 事業内容         | (前頁同樣)                                                                                                                                                | 川崎市社会福祉協<br>基づく日常生活自立<br>支援事業において、福<br>企・スの契約や金<br>鉄管理などに不安が<br>ある高齢者・障害者を<br>対象に、①福祉サーン、<br>の利用援助、②日常的な<br>な金銭管理、③日常的な<br>なからな行う。<br>また、高齢者・障害者<br>の生活及び日常的な<br>の生活及び日常的な<br>の生活及び日常的な<br>の生活及び日常的な | 型なって後見制度の割や、成年後見制度の利用に向けた申立手続の案内と関係機関の情報提供を行う。                                          |
| 民の生活                  | 実施事業         | 升<br>浴 新<br>禁 食<br>付                                                                                                                                  | あんしん<br>乗 ヤンタ- 事                                                                                                                                                                                     |                                                                                         |
| $\bowtie$             | <u>%</u>     | 33                                                                                                                                                    | 34                                                                                                                                                                                                   |                                                                                         |
| m                     | 型当           | 福석                                                                                                                                                    | 牌符                                                                                                                                                                                                   |                                                                                         |
|                       |              | · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                      |                                                                                         |

# 《区民の生活をささえるネットワークの形成》

| 型៕              | 施<br>S.                                                                                  | <b>福</b> 神 窓                                                                                                                                       |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.   実施事業<br>  | あんしん 業 業                                                                                 | 35 雄 弾 が 大 上 の まま                                                                                                                                  |
| 事業内容            | (前頁同樣)                                                                                   | 老人連絡票による<br>ひとり暮らし高齢者<br>の把権及び会食会<br>動の案内を行う。                                                                                                      |
| 第2期計画<br>の方向性   | (前頁同様)                                                                                   | ひとり暮らし高略<br>帯でひとり、確害者は<br>で、要女猴は帯が多様<br>たしている現状から、<br>ひとり暮らし高齢者<br>だけでなく、広く関す<br>被者の相握に努める。                                                        |
| 具体的な<br>事業の展開   | 川崎市及び神奈川県社会福祉協議会で実施する専門員、生活支援員向けの研修などを受講し、サービスの質を維持できるように取り組みます。                         | 多摩区内の福祉ニ-ズの把握力法を検討するとともに、<br>把握した情報をどのような<br>関係機関と共有化し、どのよう<br>うに活用していくのか、具体<br>的な検討を行います。                                                         |
| 第2期計画<br>に対する評価 | 川崎市社会福祉協議会及び神奈川<br>県社会福祉協議会で実施する専門員、<br>生活支援員向けの研修などを受講し、<br>サ-ビスの質を維持できるように取り組<br>みました。 | 田生委員児童委員協議会の「災害時一人も見逃さない運動」や、行政における「高齢者実態調査」などの様々な取り組みを通じて地域のニュズ調査を実施していることから、必要に応じて会議等での情報共有を図りました。 ニ・ズ・世権・一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、 |
| 第2期計画<br>での課題等  | ニ-ズの変容に応じて、援助困難ケ-ス<br>への対応など、様々な課題について共<br>有を図りサ-ビスの質を維持していく必<br>要があります。                 | 適宜、ニーズ調査の機会は設けていますが、多種多様なニーズが寄せられる状況から、その結果の整理や評価、分析には不十分な点があり、システムの構築は難しい状況にあります。 引き続き、福祉ニーズの活用方法及び共有方法についての検討が必要になります。                           |

Ⅲ 第2期計画の総括と第3期計画の

地域福祉活動計画の策定にあたって

| 田៕         | Š. | 実施事業                  | 事業内容                                                                                                                | 第2期計画<br>の方向性                                                                       | 具体的な<br>事業の展開                                                                                                                                                                                                               | 第2期計画<br>に対する評価                                                                                                                                                                             | 第2期計画<br>での課題等                                                                                                             |
|------------|----|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (3         |    | 在宅福祉サー                | -ビスの推進                                                                                                              |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                            |
| <b>在</b> 册 | 36 | ホ-ムヘル<br>パ- 派<br>事業   | 川崎市から「要介護者生活支援ヘルパー事業」を受託し、利用者宅にへルパーを派遣して、家事援助等のサービスを実践はする。                                                          | 要介護者にとって<br>必要な制度であるため、川崎市が継続する期間内で実施していく。                                          | 個別計画に基づいて、ヘルパーの派遣及びサービスの提供を行います。                                                                                                                                                                                            | 利用者数は年間を通じてほぼ同水準<br>となっています。<br>利用者のニ-ズに沿った形での対応を<br>行いました。                                                                                                                                 | 現状を維持します。                                                                                                                  |
| 世 世        | 37 | 个<br>職<br>業<br>会      | 介護保険法及び関<br>係法令に基づき、次の<br>事業を実施する。<br>①居宅介護支援(ケアプ<br>シ)<br>②介護予防支援(ケアプ<br>ラン)<br>③訪問介護(ヘルパー派<br>遣)<br>④予防訪問介護(ヘルパー派 | 事業の運営主体は、<br>川崎市社会福祉協議<br>会であるが、多摩区社<br>会福祉協議会内での<br>連携を図って、特に相<br>談援助機能の強化を<br>図る。 | 介護保険法及び関係法令に基づき、次の事業を実施します。<br>(1) 居宅介護支援(ケアプラン) (2) 介護予防支援(ケアプラン) (3) 計問介護(ヘルパー派遣) (4) 予防訪問介護(ヘルパー派遣) (4) 予防訪問介護(ヘルパー派遣) (4) 予防訪問介護(ヘルパー派遣) (4) 予防訪問介護(ヘルパー派遣) (4) 予防計制介護(ヘルパー派遣) (4) 予防計制分離の確保と向上のための取り組みを進めます。(4) 無業所目標) | 事業の運営主体は川崎市社会福祉協議会となりますが、多摩区社会福祉協議会内での連携を心掛けました。<br>居宅介護支援では、特定事業所加算工の要件を満たしたことで平成 24 年7 月から加算を取れるようになり、収益状況が改善しました。訪問介護については、制度改正により、生活援助の時間が短縮される傾向にあります。<br>毎年度の事業所目標に沿って、事業の質の確保に努めました。 | 同事業を通じて把握している個別ニ-ズを地域のニ-ズとして捉え、多摩区社会福祉協議会としての取り組みへと展開していくためには、更に内部での連携を強化する必要があります。サービスの質の確保と向上のためには、ヘルパーの人材確保と育成が課題となります。 |
| 世 世 世      | 38 | 斯 七 業<br>表 太 路<br>田 華 | 自立支援法及び関係法令に基づき、次の事業(ヘルパ・派遣)を実施する。<br>①居宅介護<br>②重度訪問介護<br>④化助援達<br>の重度計配の<br>②行動援護                                  | 事業No.37「介護保険事業」と同様                                                                  | 自立支援法及び関係法令<br>に基づいて、次の事業を実施<br>します。<br>①居宅介護<br>②重度訪問介護<br>③行動援護<br>④地域生活支援                                                                                                                                                | 地域課、あんしんセンタ-と関連のある市民、利用者に関して、連携を取りながら利用者のニ-ズに合わせた事業展開を行いました。平成、24年度の制度改正により、従来のサ-ビスに加え、同行援護の提供を行っています。<br>また、障害者自立支援法」については、平成、25年度から「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律をが会せるといる。                 | 同事業を通じて把握している個別ニ-ズを地域のニ-ズとして捉え、多摩区社会福祉協議会としての取り組みへと展開していくためには、更に内部での連携を強化する必要があります。                                        |

### つなげる・つながる 《区民の生活をささえるネットワークの形成》

|       |                | <u> </u>                                  | 所たで円由が                                                                                                                                    | し 者 き い 。 6 さ ま                                                                                                                                                                                 |
|-------|----------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 田福の無  | かと 初 目 回 での課題等 | サ-ビスの質の確保と向上のためには、ヘルパーの人材確保と育成が課題となります。   | おたっしゃサポートの対象は当事業所の制度サービスの利用者に限定してるため、区民のニ-ズに広く応えることができませんでした。また、30分1,260円の利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない、しないというケ-スがあります。                         | 本来であれば、対象要件を変更しなくても高齢化の進行により対象者の増加が見込まれる筈ですが、大きく対象者が増加する傾向は生じていません。  「たすけあいの心」という募金者の主旨が配分対象者を含め、広く理解されているのかが不明な状況にあります。                                                                        |
| 甲は罪の無 | <i>お 2 効</i> 引 | 毎年度の事業所目標に沿って、事業の質の確保に努めました。              | 院内介助の待ち時間での利用が最も利用件数が多く、その他に、制度サ-ビスでは認められていない外出代養参り、理・美容院、入退院時の病院など)への付き添いで多くの利用がありました。                                                   | 全市的な流れを確認しつつ、「年末<br>たすけあい運動配分委員会」で毎年検<br>討したところ、大きく対象要件を変更<br>する必要性がないとの結論を得られ<br>ています。<br>慰問金と共に民生委員のチランを配<br>布することで、地域での関係作りや民<br>生委員の活動への理解を深める機会<br>となっています。                                |
| 目体的办  | 寿栄の展開          | サーズの質の確保と向上の<br>ための取り組みを進めます。<br>(事業所目標)  | たま訪問介護支援事業所と利用者との契約により、公的制度で加バーできない介護や家事にかかわるヘルパー派のサーボの動の上でできないが、派遣のサービスを提供します。                                                           | 「年末たすけあい運動配分<br>必要とされる対象世帯の要<br>件を、募金者の主旨や配分協<br>力者の意見を踏まえながら<br>検討します。<br>慰問金配分協力者とし<br>て、民生委員・児童委員活動<br>の PR のためのチジを作成<br>しました。<br>民生委員・児童委員と<br>にました。<br>民生委員・児童委員と<br>しました。<br>民生委員・児童委員と連携 |
| 無り期計画 | から知らの方向性       | (前頁同様)                                    | 事業」と同様<br>事業」と同様                                                                                                                          | 全市的な流れを視<br>国に入れながら、地域<br>ニ-メ「に応じた配分対<br>後世帯や配分方法を<br>検討する。<br>「たすけあいの心」<br>をよりどころとした<br>在末たすけあい場か<br>運動による事業であ<br>るため、募金者の計画<br>をどのように配分事<br>業に生かすことがで<br>きるのか検討する。                            |
|       | 事業内容           | (前頁同様)                                    | 公的制度でカバーで<br>きない利用者のニ-ズ<br>を充足させるため、<br>全額利用者負担によ<br>る、ヘルバー派遣の介護<br>リービスを提供する。<br>この対象は、たま<br>訪問介護支援事業所<br>と公的制度の契約を<br>している利用者のみ<br>である。 | 「年末たすけあい運動配分委員会」で、年末たすけあい募金に本たる、①慰問金申請世市への慰問金の配分、②地区社会福祉協議会が実施する活動に対する助成金の交付、3多摩区社会福祉協議会による地域金融等への配分を検討する。                                                                                      |
|       | 実施事業           | 摩<br>古<br>古<br>天<br>天<br>天<br>天<br>天<br>天 | おたっし<br>やサポート                                                                                                                             | サナ<br>乗<br>といる配<br>を<br>り<br>り<br>単                                                                                                                                                             |
|       | No.            | 38                                        | 39                                                                                                                                        | 40                                                                                                                                                                                              |
| 畢     | 川川             | 在完                                        | <b>仲</b> 仍                                                                                                                                | <b>仲</b>                                                                                                                                                                                        |

地域福祉活動計画の策定にあたって

Ⅲ 第3期計画の考え方と方向性

## 《区民の生活をささえるネットワ-クの形成》

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                |                                                                                                       |                                                                                                                                                 | 1                                              |                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| # 実施毒業 事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 第2期計画<br>での課題等 | 事業の実施状況を踏まえた上で、引き続き安全性の確保に向けた事業内容の検討が必要となります。                                                         | 多摩区内での移動サーズ事業の参入者も増えてきている現状から、人材の育成や活動の支援を視野に入れた事業内容の見直し・検討を進めていく必要があります。                                                                       | <u></u> ₩                                      | <b>ヾなし</b><br>ます                            |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 第2期計画 に対する評価   | 移送・送迎サ-ビス事業運営委員会において、移送サ-ビスでの付添者の同乗要件の追加や事務所の体制に合わせたサ-ビス提供時間の変更など、実施要綱及び細則の見直しを行い、安全性を重視した事業運営を図りました。 | 事業が抱えている問題を整理し、移送・送迎サービス事業運営委員会及び運転ボランティアケル-プ多摩 21 との検討を行い、移送車両の稼働率を踏まえた上で、車両体制を2台から1台へと変更しました。                                                 | 損害保険に加入し、車椅子を起因と<br>した事故などが発生した際の体制を<br>整えました。 | 定期的なメンテナンスを実施し、安全性の確保に努めました。                |
| 大大文通機関の利用が国際を対象に、①本文通機関の利用が国際を対象に、①本・ファイルによる 福祉 中国の運転、③ボランティアによる 移動文援を行う。 地域福祉活動に係る 多本人材の発掘や支援 あん材の発掘や支援 あんが・ファイア (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 具体的な<br>事業の展開  |                                                                                                       | 事業経費の増加やボランテイアの高齢化、事務負担の増加などの移送・送迎サービス事業が抱えている問題を整理し、事業収支、ボランティアの育成・登録状況、賛助会員の登録状況を踏まえた上で、サービス内容や車両管理などの見直しを行い、多摩区社会福祉協議会の実状に即した事業の方向性の検討を進めます。 | 安定した事業継続のため、<br>車いすの損害保険に加入し<br>ます。            | 耐用年数に応じたメンテナンスや、使用できなくなった車いすの廃棄方法について検討します。 |
| る     14       機     数       が     ・・・       が     ・・・       が     ・・・       の     ・・・       が     ・・・       の     ・・       の     ・       の     ・       の     ・       の     ・       の     ・       の     ・       の     ・       の     ・       の     ・ | 第2期計画<br>の方向性  |                                                                                                       |                                                                                                                                                 |                                                |                                             |
| <b>8</b> 14 4 42                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 事業内容           | 公共交通機関の利用が困難な方を対象に、①福祉車両の貸出し、②ボランティアによる福祉車両の運転、③ボランティアの自変がランティアの自家用車や付添ボランティアによる                      | 移動支援を行う。<br>地域福祉活動に信<br>る人材の発掘や支持<br>の組織化を図って、追<br>転ボランティア、付添ボ・<br>ンティア及び事務ボラン<br>イアの活動を支援する                                                    | 多摩区民を対象に、<br>最長 1 か月間の車い<br>すの無料貸出しを行う。        |                                             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 実施事業           |                                                                                                       | 移 迎 事<br>送 + + 業<br>送 バ                                                                                                                         | €<br>†<br>                                     | + 貸<br>出<br>ッ し                             |
| <b>四 川</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | No.            |                                                                                                       | 14                                                                                                                                              |                                                | 42                                          |
| Kul Kul                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 田៕             |                                                                                                       | 在史                                                                                                                                              |                                                | 在免                                          |

### かかわる・ささえ 施設との協働促進》 《区内の福祉関係団体·

| 第2期計画での課題等      |                  | 出席すべき会議を整理し、社会福祉<br>協議会として目的をもって会議に参加していく必要があります。<br>また、一定の成果を上げた協働事業<br>及び会議については、引き続きその関わり方の見直しが必要であり、併せて、これまで関係性が希薄だった福祉<br>施設やボランティア団体へのアプロ-チも不十分な状況でした。 | 課題や情報を共有した後に、全て<br>の内容に対しての具体的な解決策の<br>検討などを行うことができませんで<br>した。<br>関係施設や団体相互間の関係作り<br>は、今後も更に深められる余地があり<br>ます。 |
|-----------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 404 人           |                  |                                                                                                                                                              |                                                                                                               |
| 第2期計画<br>に対する評価 |                  | 各種会議に職員が出席することにより、地域の福祉ニ-ズを的確に捉えられるよう努めました。<br>また、各種機関・団体にボランティ7体験の受入れや講座の講師を依頼するなど、連携を取りながら各種事業に取り組みました。                                                    | 各種委員会及び会議の中で情報交換の時間を設け、課題や情報の共有化を図るとともに、まつりなどの機会に情報交換や関係作りを進めることができました。                                       |
| 具体的な<br>事業の展開   |                  | 多摩区社会福祉協議会が<br>実施している各種事業を、よ<br>り幅広く関係機関・団体と協<br>働して実施します。<br>また、現在、他機関と協働<br>して行っている事業や会議<br>などについて一定の成果を<br>あげた事業については、随時<br>見直し、併せて新規事業の検<br>討を行います。      | 多摩区社会福祉協議会に設置されている各種委員会や、職員が出席している既存の連絡会議において、情報交換の場を設けるなど、出席者相互の理解や情報の共有化が図れるよう検討します。                        |
| 第2期計画<br>の方向性   |                  | 自立支援協議会や子育て支援会議等、<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                                                                                                    | 種別会議などフォーマ<br>ルな会議にこだわら<br>ず、関係施設や団体相<br>互間の関係づくりに<br>ついて検討する。                                                |
| 事業內容            | (1) 地域の団体 施設との協働 | 地域福祉のニ-ベに対して、関係機関・団体と協働して取り組む。                                                                                                                               | 会員を中心とした、<br>区内福祉関係施設や<br>団体相互間の情報交<br>換を行う。                                                                  |
| 実施事業            | 域の団体・加           | 協働事業<br>の開発                                                                                                                                                  | 選後 米 別の 日 を 日 を 日 を 日 を 母 を 母 を 母 を 基 を 基 を まま かん は まま かん は まま きょうしょう                                         |
| No.             | (分)              | 43                                                                                                                                                           | 44                                                                                                            |
| 型៕              | 2                | 法人                                                                                                                                                           | <b>∜</b> H                                                                                                    |

Ⅲ 第2期計画の総括と第3期計画の

地域福祉活動計画の策定にあたって

### 第3期計画策定の経過

| 実施日         | 実施内容                              |
|-------------|-----------------------------------|
| 平成 24 年     | 担当理事会(法人運営)                       |
| 12月 6日      | ◇第3期計画策定について(素案)                  |
| 12月 6日      | 担当理事会(地域福祉活動推進)                   |
|             | ◇第3期計画策定について(素案)                  |
| 12月11日      | 担当理事会(福祉サービス利用支援·在宅福祉サービス)        |
| 12 / 11   1 | ◇第3期計画策定について(素案)                  |
| 平成 25 年     | 理事会                               |
| 1月28日       | ◇第3期計画の策定方針(案)                    |
| 2月5日        | 評議員会                              |
| 2)] 5 [     | ◇第3期計画の策定方針(案)                    |
|             | 担当理事会(法人運営)                       |
| 3月8日        | ◇種別会員アンケートの実施方法 ◇地域住民懇談会の実施方      |
|             | 法 ◇第2期計画の評価方法                     |
|             | 担当理事会(地域福祉活動推進)                   |
| 3月8日        | ◇種別会員アンケートの実施方法 ◇地域住民懇談会の実施方      |
|             | 法 ◇第2期計画の評価方法                     |
|             | 担当理事会(福祉サービス利用支援·在宅福祉サービス)        |
| 3月11日       | ◇種別会員アンケートの実施方法 ◇地域住民懇談会の実施方      |
|             | 法 ◇第2期計画の評価方法                     |
| 5月24日       | 理事会                               |
| 0 ) ] 2   [ | ◇種別会員アンケートの内容                     |
|             | 種別会員アンケートを実施                      |
| 6月~7月       | ◇区社協の第 1 種から第 10 種までの各種別会員及びその構成員 |
|             | 等を対象に実施                           |
| 7月~8月       | 地域住民懇談会を実施                        |
| , ,,, ,,,   | ◇登戸· 菅· 中野島· 稲田· 生田地区で各 1 回実施     |
|             | 担当理事会(福祉サービス利用支援·在宅福祉サービス)        |
| 9月24日       | ◇地域住民懇談会の開催報告 ◇第2期計画の評価と第3期計画     |
|             | での各事業の方向性 ◇策定スケジュール               |
|             | 担当理事会(法人運営)                       |
| 9月25日       | ◇地域住民懇談会の開催報告 ◇第2期計画の評価と第3期計画     |
|             | での各事業の方向性 ◇策定スケジュール               |
|             | 担当理事会(地域福祉活動推進)                   |
| 9月26日       | ◇地域住民懇談会の開催報告 ◇第2期計画の評価と第3期計画     |
|             | での各事業の方向性 ◇策定スケジュール               |

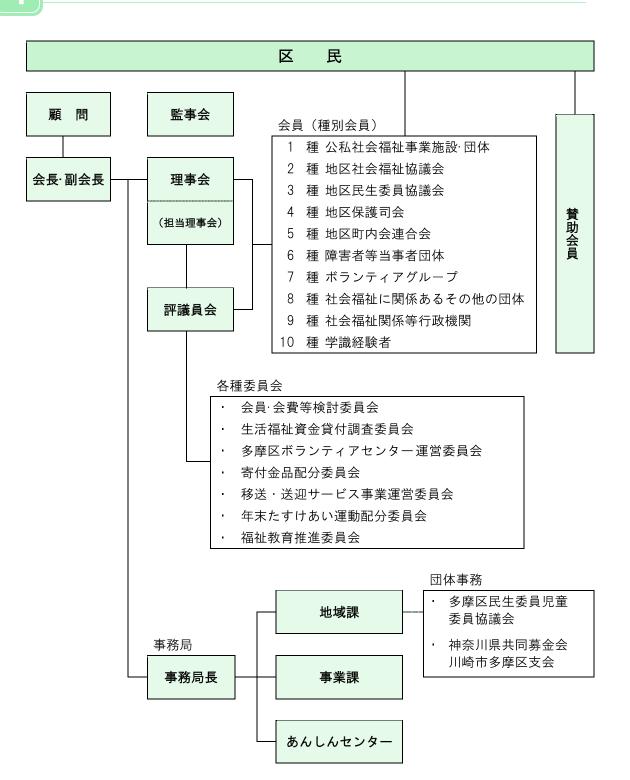
| 実施日         | 実施内容                       |
|-------------|----------------------------|
| 10月15日      | 理事会                        |
| 10 /3 13 13 | ◇地域住民懇談会の開催報告 ◇第2期計画の評価    |
| 10月31日      | 評議員会                       |
| 10 月 31 日   | ◇地域住民懇談会の開催報告 ◇第2期計画の評価    |
| 12月 5日      | 担当理事会(地域福祉活動推進)            |
|             | ◇第3期計画(素案)の検討              |
| 12月 6日      | 担当理事会(福祉サービス利用支援・在宅福祉サービス) |
| 12 / 0      | ◇第3期計画(素案)の検討              |
| 12月 9日      | 担当理事会(法人運営)                |
| 12 / 3      | ◇第3期計画(素案)の検討              |
| 12月26日      | 理事会                        |
| 12 月 20 日   | ◇第3期計画(案)の協議               |
| 平成 26 年     | 理事会                        |
| 3月14日       | ◇第3期計画(最終案)の協議             |
| 3月26日       | 評議員会                       |
| 3月20日       | ◇第3期計画(最終案)の協議             |

Ⅲ 第3期計画の考え方と方向性

I 地域福祉活動計画の策定にあたって

Ⅲ 第2期計画の総括と第3期計画の

### 川崎市多摩区社会福祉協議会 組織図



### 川崎市多摩区社会福祉協議会 会員名簿

### (第1番 八利立社会短加重業施設,団体)

| (第  | § 1 種 公私立社会福祉事業施設·団体) |     | 92種 |
|-----|-----------------------|-----|-----|
| No. | 名称                    | No. | 名称  |
| 1   | 太陽の園                  | 1   | 登戸地 |
| 2   | 長沢壮寿の里                | 2   | 菅地区 |
| 3   | 多摩川の里                 | 3   | 中野島 |
| 4   | 菅の里                   | 4   | 稲田地 |
| 5   | しゅくがわら                | 5   | 生田地 |
| 6   | よみうりランド花ハウス           |     |     |
| 7   | サンピアインオアシス            | (第  | 93種 |
| 8   | 多摩川の里身体障害者福祉会館        | No. | 名称  |
| 9   | 多摩老人福祉センター            | 1   | 稲田夏 |
| 10  | 三田福祉ホーム               | 2   | 登戸地 |
| 11  | 多摩川あゆ工房               | 3   | 菅第- |
| 12  | 三田地域福祉活動ホームなしの実       | 4   | 菅第二 |
| 13  | 多摩地域福祉活動ホームあかね        | 5   | 稲田口 |
| 14  | 宿河原保育園                | 6   | 生田夏 |
| 15  | 東中野島保育園               | 7   | 生田中 |
| 16  | 中野島フレンズ保育園            | 8   | 生田第 |
| 17  | 菅保育園                  |     |     |
| 18  | 土渕保育園                 | (第  | 94種 |
| 19  | 三田保育園                 | No. | 名称  |
| 20  | 南生田保育園                | 1   | 多摩区 |
| 21  | 生田保育園                 |     |     |
| 22  | 生田乳児保育園               | (第  | 95種 |
| 23  | 龍厳寺保育園                | No. | 名称  |
| 24  | ひばり保育園                | 1   | 稲田地 |
| 25  | 稲田保育園                 | 2   | 生田地 |
| 26  | 厚生館愛児園                |     |     |
| 27  | 第二厚生館愛児園              | (第  | 96種 |
| 28  | 星の子愛児園                | No. | 名称  |
| 29  | 枡形こども文化センター           | 1   | 多摩区 |
| 30  | 菅こども文化センター            | 2   | 多摩区 |
| 31  | 長尾こども文化センター           | 3   | 川崎市 |
| 32  | 錦ケ丘こども文化センター          | 4   | 多摩区 |
|     |                       |     |     |

33 中野島こども文化センター 34 三田こども文化センター \_\_ 35 |南菅こども文化センター

36 障害者生活支援センターホルト・長沢

### (第2種 地区社会福祉協議会)

| No. | 名称           |
|-----|--------------|
| 1   | 登戸地区社会福祉協議会  |
| 2   | 菅地区社会福祉協議会   |
| 3   | 中野島地区社会福祉協議会 |
| 4   | 稲田地区社会福祉協議会  |
| 5   | 生田地区社会福祉協議会  |

地域福祉活動計画の策定にあたって

策第

 $\blacksquare$ 

第3期計画の考え方と方向性

### 93種 地区民生委員協議会)

| 110. | 1110°               |
|------|---------------------|
| 1    | 稲田東地区民生委員協議会        |
| 2    | 登戸地区民生委員協議会         |
| 3    | <b>菅第一地区民生委員協議会</b> |
| 4    | <b>菅第二地区民生委員協議会</b> |
| 5    | 稲田中野島地区民生委員協議会      |
| 6    | 生田東地区民生委員協議会        |
| 7    | 生田中央地区民生委員協議会       |
| 8    | 生田第二地区民生委員協議会       |

### 第4種 地区保護司会)

| No. | 名称      |
|-----|---------|
| 1   | 多摩区保護司会 |

### 第5種 地区町会連合会)

| No. | 名称        |
|-----|-----------|
| 1   | 稲田地区町会連合会 |
| 2   | 生田地区町会連合会 |

### 有6種 障害者等当事者団体)

| No.              | 名称                 |  |  |  |
|------------------|--------------------|--|--|--|
| 1 多摩区身体障害者児団体協議会 |                    |  |  |  |
| 2                | 多摩区肢体障害者福祉協会       |  |  |  |
| 3                | 川崎市視覚障害者福祉協会多摩支部   |  |  |  |
| 4                | 多摩区聴覚障害者協会         |  |  |  |
| 5                | 多摩区肢体不自由児者父母の会     |  |  |  |
| 6                | 多摩区母子寡婦福祉会         |  |  |  |
| 7                | 川崎市育成会手をむすぶ親の会多摩支部 |  |  |  |
| 8                | 泰山木の会              |  |  |  |
| 9                | 療育相談 でんでん虫         |  |  |  |

(第6種 障害者等当事者団体)

| No. | 名称              |
|-----|-----------------|
| 10  | NPO 法人 赤いふうせん   |
| 11  | はぐるま共同作業所       |
| 12  | 川崎きた作業所         |
| 13  | はぐるま共働学習ホーム     |
| 14  | 第2はぐるま共働学習ホーム   |
| 15  | 野の花ホーム          |
| 16  | 乳幼児園「太陽の子」      |
| 17  | 多摩みのりの会         |
| 18  | はぐるま菅工舎         |
| 19  | 多摩ワークショップ       |
| 20  | いずみホーム          |
| 21  | 川崎断酒新生会多摩支部     |
| 22  | 第4はぐるま共働学習ホーム   |
| 23  | 地域活動支援センター紙ひこうき |
| 24  | グループホーム すみれ     |
| 25  | 第2はぐるま共同作業所     |
| 26  | あぐりホーム          |

### (第7種 ボランティアグループ)

| No. | 名称                 |
|-----|--------------------|
| 1   | たすけあい多摩            |
| 2   | 手話サークル山びこ          |
| 3   | 手話サークル多摩の会         |
| 4   | コスモスの会             |
| 5   | コスモスの家             |
| 6   | てづくりおもちゃの会ありんこ     |
| 7   | 専修大学「樹々の会」         |
| 8   | じゃりんこクラブたま         |
| 9   | なごみトイライブラリー        |
| 10  | たまふくし協力会           |
| 11  | ひっきいず              |
| 12  | たまわかくさ             |
| 13  | 傾聴ボランティアきぼう        |
| 14  | ウィメンズハウス花みずき       |
| 15  | ゆきわり草              |
| 16  | 運転ボランティアグループ「多摩21」 |
| 17  | みみちゃんの会            |

### (第8種 社会福祉に関係のあるその他の団体)

|   | No. | 名称             |
|---|-----|----------------|
|   | 1   | 多摩区老人クラブ連合会    |
|   | 2   | 多摩区赤十字奉仕団      |
|   | 3   | 多摩区こども会連合会     |
|   | 4   | 多摩区青少年指導員連絡協議会 |
|   | 5   | 多摩区スポーツ推進委員会   |
|   | 6   | 多摩区地域女性連絡協議会   |
|   | 7   | 多摩区商店街連合会      |
|   | 8   | 川崎多摩ライオンズクラブ   |
|   | 9   | 川崎稲田ライオンズクラブ   |
|   | 10  | 川崎生田ライオンズクラブ   |
|   | 11  | 多摩区PTA協議会      |
|   | 12  | 多摩区医師会         |
|   | 13  | 川崎市歯科医師会多摩支部   |
|   | 14  | 多摩区薬剤師会        |
|   | 15  | 多摩防犯協会         |
|   | 16  | 多摩麻生地区更生保護女性会  |
|   | 17  | 多摩区遺族会         |
| - | 18  | 三田あすみの丘        |
| _ | 19  | 遊花園            |
|   | 20  | おおすみ           |

### (第9種 関係行政機関)

| No. | 名称    |
|-----|-------|
| 1   | 多摩区役所 |

### (第10種 学識経験者)

| ( - 1 - | 1- | _ , ,, | W-1 T - 30 C II / |  |
|---------|----|--------|-------------------|--|
| No.     | 名称 |        |                   |  |
| 1       | 黒岩 | 亮子     |                   |  |

※平成26年3月時点

### 地区社会福祉協議会の概要

### 登戸地区社会福祉協議会の概要

| 設立年月                 | 昭和 42 年 4 月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |  |  |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 対象地域                 | 登戸·登戸新町                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |  |  |
| 活動場所                 | 福祉パルたま、登戸老人いこいの家、多摩市民館 等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |  |  |
| 構成                   | 町内会·自治会、民生委員·児童委員、保護司、老人クラブ、学校関係、子ども会、<br>スポーツ推進委員、青少年指導員、当事者団体、ボランティア 等                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |  |  |
| 会議                   | 総会、三役会、常任理事会、共同募金登戸地区分会·街頭募金打ち合わせ会、登<br>戸福祉まつり検討委員会·実行委員会、部会(①総務企画部会、②老人福祉部会、<br>③青少年福祉部会、④障害福祉部会)                                                                                                                                                                                                                                                          |  |  |  |
| 特徴的な<br>活動・運<br>営方法等 | 多摩区内にある地区社協の中で一番活動の地域面積が小さい地区となりますが、登戸駅・向ヶ丘遊園駅があるため交通の便が良く、近くに大学などがあることからアパートやマンションが多いことが特徴の1つにあります。 平成 23 年度には、従来以上に地域住民の身近な団体となれるよう、地区社協の名称を「稲田第一地区」から「登戸地区」へと変更し、「地域に住むお年寄り、子ども、障害者、すべての住民が健康で生きがいをもって、安心して暮らせるまちづくり」を目指した各種事業を展開しています。 これまで高齢者の方の生きがいづくりの場として実施していた「登戸さくら祭り」も、より広く地域の交流が図られるよう、平成 24 年度からボランティアグループ等の参加を促し、地域に開けた「登戸福祉まつり」として生まれ変わりました。 |  |  |  |
|                      | ▽全体活動<br>総会·三役会·常任理事会の開催、共同募金·年末たすけあい運動の推進、賛助会員<br>増強運動の実施、登戸老人いこいの家の運営への協力、社会を明るくする運動へ<br>の協力、地域子育て支援への協力(子育てサロン「ひよっこ」への協力、母親ク<br>ラブ「たんぽぽ」への後援)、地域ミニデイケアサービス事業「にっこり会」へ<br>の協力、登戸福祉まつりの開催、研修会の実施                                                                                                                                                            |  |  |  |

### ▽各部会活動

①総務企画部会

社協研修会への協力、広報紙「のぼり と」の企画・発行、部会研修会の実施、 社会を明るくする運動関係事項

### ②老人福祉部会

### 主な事業

ふれあい型老人会食会の実施、栄養 指導講座の実施、部会研修会の実施

③青少年福祉部会

七夕まつりの実施、たまたま子育て まつりへの参加、のぼりとフェステ ィバルへの参加、KFJ祭りへの参 加、紙飛行機大会の開催、節分祭へ の参加、部会研修会の実施

### ④障害福祉部会

部会研修会の実施、福祉講演会の実 施、のぼりとフェスティバルへの参 加、障害児・者とのクリスマス会の実 施、福祉講演会の実施



地域福祉活動計画の策定にあたって

策第

定に向けた取り組み状況2期計画の総括と第3期計画の

 $\blacksquare$ 

第

期計画の考え方と方向性

〈登戸福祉まつりの様子〉



〈クリスマス会の様子〉

### 菅地区社会福祉協議会の概要

| 設立年月                                                | 平成 18 年 4 月                                                                                                |  |
|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 対象地域                                                | 菅、菅野戸呂、菅稲田堤、菅城下、菅仙谷、菅北浦、菅馬場                                                                                |  |
| 活動場所                                                | 菅会館、菅老人いこいの家、南菅老人いこいの家 等                                                                                   |  |
| 構成 町内会、民生委員·児童委員、保護司、老人クラブ、子ども会、学校関係<br>ラブ、ボランティア 等 |                                                                                                            |  |
| 会議                                                  | 総会、役員会、常任理事会、共同募金菅地区分会、社会福祉のつどい準備委員会·<br>実行委員会、部会·委員会(①企画部、②老人福祉部、③こども福祉部、④障害者<br>福祉部、⑤老人会食委員会、⑥ミニデイケア委員会) |  |
| 特徴的な<br>活動・運<br>営方法等                                |                                                                                                            |  |
|                                                     |                                                                                                            |  |

### ▽全体活動

社会福祉のつどいの実施、社会を明るくする運動の実施、研修会の実施、会員 賛助会員増強運動の推進、地域内各種団体行事·活動への協力、共同募金活動·年 末たすけあい運動への協力、老人福祉週間行事に対する支援·協力、菅·南菅老人 いこいの家の運営に協力

### ▽各部·委員会活動

### ①企画部

総会準備·手伝い、社会福祉のつどい の企画·実施に協力、社会を明るくす る運動への協力、研修会の準備・開催、 各種団体交流活動に協力、広報紙の企 画・立案・発行、新規事業への取組み ②老人福祉部

菅中学校の収穫祭に参加・協力、一人暮 らし老人への年賀状の送付、合同研修会

### ③こども福祉部 主な事業

母親クラブの育成及び子育て支援、 保育ボランティアの会「チューリッ プの会」への協力、小児救命救急法 講習会の開催、親子体操教室の実施、 親子探検の実施、研修会の実施、福 祉標語の立て看板の維持・管理

④障害者福祉部 福祉ボランティア体験コーナーの開 催、菅みのりの会「健康回復教室」活 動への支援、障害者福祉団体への支

援・地域福祉行事への協力・交流

⑤老人会食委員会 老人会食活動の実施、献立会・打合 せ 研修の実施

⑥ミニデイケア委員会 ミニデイケア「ありのみ会」の実施、 施設見学の実施



〈社会福祉のつどいの様子〉



〈老人会食会の様子〉

### 中野島地区社会福祉協議会の概要

| 設立年月                 | 平成 18 年 4 月                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |  |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 対象地域                 | 中野島、布田                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |
| 活動場所                 | 中野島老人いこいの家、中野島会館 等                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |
| 構成                   | 町内会·自治会、民生委員·児童委員、保護司、老人クラブ、子ども会、学校関係、<br>青少年指導員、スポーツ推進委員、ボランティア、母親クラブ、保育園                                                                                                                                                                                                               |  |  |
| 会議                   | 総会、役員会、常任理事会、共同募金中野島地区分会、部会等(①総務部、②福祉部、③青少年幼児部、④老人会食委員会、⑤ミニデイケア委員会)                                                                                                                                                                                                                      |  |  |
| 特徴的な<br>活動・運<br>営方法等 | 中野島、布田地区は、自然に恵まれたのどかな住環境であり、そこで育まれた住民相互の連帯意識、多くの福祉施設を包み込む、福祉にやさしい町です。中野島地区社協では、このような地域性を活かし、以下の5つを柱としながら住民の立場に立った、よりきめ細かい福祉の実践に取り組んでいます。 ・一人暮らし高齢者及び高齢世帯の地域助け合い仕組みの検討と活動・障害のある方への助け合いと活動の場の提供・子供たちがのびのびと活動できる安全な環境づくりと子育て支援・子供からお年寄りまでが理解し、共に助け合うための交流の場と機会の提供・地域福祉推進のための地域関係団体、機関との連携協調 |  |  |
|                      | ▽全体活動<br>社会福祉のつどいの実施、社会を明るくする運動の実施、地区内各種団体行事・活動への協力、賛助会員増強運動の推進、ボランティア活動の促進、共同募金運動・年末たすけあい運動への協力、老人福祉週間行事に対する援助・協力、中野島老人いこいの家の運営への協力、子育てサロン「バンビ」への支援<br>▽部会等活動                                                                                                                           |  |  |
| 主な事業                 | ①総務部 広報紙の発行、理事研修の計画・立 案・実施、理事視察研修の計画・立案・ 実施、事業推進のための連絡調整・ 効果ある活動の推進 ②福祉部 高齢者福祉会議の開催、心の癒しを 提供する講演会開催、障害者・高齢者 疑似体験講座の開催、一人暮らし高 齢者への年賀状・暑中見舞いの郵送、 〈社会福祉のつどいの様子〉                                                                                                                             |  |  |
|                      | ボランティア活動団体との意見交換<br>会の開催                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |  |

③青少年幼児部

社会を明るくする運動の推進、部員研 修会の開催(子供教育のための施設見 学の実施)、関係行事の開催(親と子 のふれあい活動、演芸など)、母親ク ラブの育成及び地域の子育て支援

④会食委員会

老人会食会等活動の実施、研修会の

⑤ミニデイケア委員会~たんぽぽ~ ミニデイサービスの実施、研修会· 講演会の実施



地域福祉活動計画の策定にあたっ

策第

画の

 $\blacksquare$ 

第 3

期計画の考え方と方向性

〈ミニデイケア「たんぽぽ」の様子〉

### 稲田地区社会福祉協議会の概要

| 設立年月 平成元年 7 月                                                   |              |                                                                                                                                                                                                                                                |  |
|-----------------------------------------------------------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|                                                                 | 対象地域         | 宿河原、長尾、堰                                                                                                                                                                                                                                       |  |
|                                                                 | 活動場所         | 長尾老人いこいの家、長尾こども文化センター、宿河原会館 等                                                                                                                                                                                                                  |  |
| 構成 町内会・自治会、民生委員・児童委員、保護司、老人クラブ、学校関係、子ども<br>指導員、スポーツ推進委員、ボランティア等 |              |                                                                                                                                                                                                                                                |  |
|                                                                 | 会議           | 総会(理事会·評議員会)、理事会、役員会、共同募金稲田地区分会、地域福祉のつどい検討委員会・運営委員会、部会等(①総務企画部会、②老人福祉部会、③青少年福祉部会、④心身障害福祉部会、⑤幼児福祉部会、⑥一人暮らし老人会食会実施委員会、⑦長尾みのりの会、⑧ほがらか会、⑨ミニデイケアかざぐるま)                                                                                              |  |
| Ī                                                               | 特徴的な活動・運営方法等 | 稲田地区社協の活動地域は、高齢者と新しいマンションへの若年層の転入者とが<br>混在している地域であり、子どもを対象とした福祉ニーズが目に付きやすい地域と<br>なります。<br>地区社協の全体事業である「地域福祉のつどい」においては、従来までの高齢者を対<br>象とした交流会から地域全体で福祉を考える場となるよう、地区社協の活動に直接<br>的な関わりが少なかった保育園、小・中・高等学校などの教育機関や福祉施設への働き<br>かけを行い、地域の繋がり作りを進めています。 |  |
| Ì                                                               |              | ▽全体活動                                                                                                                                                                                                                                          |  |

### ▽全体活動

地域福祉のつどいの実施、賛助会員の増強運動の実施、共同募金·年末たすけあい運動の推進、老人いこいの家の運営に協力、老人いこいの家ミニデイケア事業の推進、 社会を明るくする運動の実施、稲田地区防災対応連絡協議会の開催

### ▽部会等活動

主な事業

①総務企画部会 各部会間の連絡調整、研修会の企画・

実施、広報紙の発行

②老人福祉部会 長尾老人いこいの家まつりへの協力、健康ウォーキングの実施、健康 講演会の実施

③青少年福祉部会 ダンボールピザ作りの実施、2 万歩 歩いてみませんかの実施、親子大運 動会に協賛

④心身障害福祉部会 バスハイクの実施、クリスマス会の 開催、部会研修会の開催

⑤幼児福祉部会

親と子のひろばの開催、行事の開催 ⑥一人暮らし老人会食会実施委員会 会食会の実施、研修会の実施、調理 講習会の実施

⑦長尾みのりの会 脳血管障害者のリハビリ教室

脳皿管障害者のリハヒリ教皇 ⑧ほがらか会

虚弱老人ミニデイケア ⑨ミニデイケアかざぐるま 高齢者を対象としたミニデイケア



〈地域福祉のつどいの様子〉



〈パネルシアターの様子〉

### 生田地区社会福祉協議会の概要

| 設立年月                 | 昭和 33 年 7 月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |  |  |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 対象地域                 | 栗谷、三田、寺尾台、生田、西生田、東生田、長沢、東三田、南生田、枡形                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |  |  |
| 活動場所                 | 生田出張所、錦ヶ丘老人いこいの家、枡形老人いこいの家 等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |
| 構成                   | 町内会· 自治会、民生委員· 児童委員、保護司、学校関係、青少年指導員、スポーツ推進<br>委員、老人クラブ、子ども会、母親クラブ、福祉施設代表、ボランティア、賛助会員 等                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |  |  |
| 会 議                  | 総会、理事会、役員会、生田地区お年寄りのつどい運営委員会·実施委員会、共同募金生田地区分会、部会等(①総合企画部、②老人身障者福祉部、③青少年福祉部、④婦人幼児福祉部、⑤会食会委員会)                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |
| 地区の特<br>徴及び運<br>営方法等 | 生田地区社協は活動地域が広く、山坂が多い土地であることから、事業実施の際の会場設定の難しさが課題となっています。 高齢者を対象に余暇支援と健康増進のためのレクリエーションを実施する「長寿をたのしもう!」においては、区内9ヶ所の会場で行事を開催し、地域に住む多くの方にご参加いただけるよう心掛けています。 青少年福祉部会による「中学生を囲む懇談会」では、青少年の健全育成と世代間交流、子ども同士の交流を目的に、生田地区内の中学校の生徒同士で福祉及び青少年問題をテーマにした話し合いを実施しています。 また、地区社協全体事業としては、高齢者の生きがい作りや地域住民同士のふれあいの場として、高齢者の方の歌や踊り等の活動発表を内容とした「お年寄りのつどい」、福祉活動についての啓発を目的とした「福祉感謝の集い」を開催しています。 |  |  |  |
|                      | ▽全体活動<br>お年寄りのつどいの開催、社会を明るくする運動への協力、共同募金運動への協力、各種福祉関係団体への後援及び育成助成、枡形・錦ヶ丘老人いこいの家の運営への協力、関係諸団体との連携<br>▽部会等活動<br>①総合企画部会                                                                                                                                                                                                                                                     |  |  |  |

理事研修会の実施、広報紙「いくた」 の発行、福祉感謝の集いの実施、部 会研修会の実施、他地区社協との交 流会の実施

②老人身障者福祉部会 長寿をたのしもうの開催(9ヶ所)、 見学研修会の実施

### 主な活動 ③青少年福祉部会

中学校生活指導担当教諭との交流、 中学生を囲む懇談会の開催、中学生 を囲む懇談会小冊子の編集及び発行 ④婦人幼児福祉部会

子育てサロン(にこにこ広場)の開催、各種講習会及び研修会の開催

⑤会食会委員会

ひとり暮らし高齢者会食会の実施



地域福祉活動計画の策定にあたっ

策第

画の

 $\blacksquare$ 

第 3

期計画の考え方と方向性

〈お年寄りのつどいの様子〉



〈中学生を囲む懇談会の様子〉